

文部科学省 令和4年度委託事業

「幼児教育における人材確保・キャリアアップ支援事業(人材確保関係事業)」

## 実施報告書

令和5年3月

公益社団法人山梨県私学教育振興会

## 《目次》

【調査研究課題】	-----	1
A) 調査研究の目的並びに成果及び今後の課題(研究の要旨を含む)	-----	1
A-1) 調査研究の要旨	-----	1
本事業の目的	-----	1
各調査の研究課題	-----	1
全体のまとめ	-----	1
A-2) 調査研究の目的及び内容	-----	2
LINE を利用したアンケート調査に基づく分析	-----	2
幼稚園に関する情報一元化システムの構築およびインターネットを活用した情報発信	----	3
「私学人材バンク登録制度」の見直し	-----	4
採用に繋がる実習の仕組み作り～実習園・職場体験情報パンフレットの作成～	----	4～5
養成校での就職説明会	-----	5
個別ノーマル残業 Day・早上がり Day 制度(びよん Day)の普及およびノンコンタクトタイムの充実化	-	6
養成校との意見交換会の実施	-----	6～7
設置者・園長向け研修会の実施	-----	7～8
A-3) 調査研究の成果及び今後の課題	-----	8
LINE を利用したアンケート調査に基づく分析	-----	8～9
幼稚園に関する情報一元化システムの構築およびインターネットを活用した情報発信	----	9～10
「私学人材バンク登録制度」の見直し	-----	11
採用に繋がる実習の仕組み作り～実習園・職場体験情報パンフレットの作成～	----	11～12
養成校での就職説明会	-----	13～16
個別ノーマル残業 Day・早上がり Day 制度(びよん Day)の普及およびノンコンタクトタイムの充実化	-	16～17
養成校との意見交換会の実施	-----	17～19
設置者・園長向け研修会の実施	-----	20～22
B) 実施体制について	-----	22
B-1) 具体的調査研究体制	-----	22
調査研究実行委員会体制	-----	22
研究協力団体の概要	-----	23
B-2) 組織図及び体制図	-----	23
参考資料	-----	24～45

## 【調査研究課題】

養成・採用の強化及び魅力発信(幼児教育施設への就職希望者を増やす)  
離職防止・定着促進(働き方改革)

### A) 調査研究の目的並びに成果及び今後の課題(研究の要旨を含む)

#### A-1) 調査研究の要旨

##### 1. 本事業の目的

「子ども・子育て支援新制度」の施行から程なく10年目を迎える中、令和4年度時点で全加盟園56園の8割強にあたる47園が新制度に移行した(うち認定こども園は29園)。

多数の園が新制度への移行を経て、次なる段階は、これまで培ってきた幼児教育の質を担保しながら、地域との連携を強化して“必要とされる幼稚園”を目指すことが重要な課題となっている。そのためには、幼稚園教諭の確保と定着は切り離せない課題であるのは言うまでもない。

本団体加盟園が県内の子育て支援および幼児教育を先導するべく下記内容の事業に取り組み、人材確保対策に新たな知見を得ることを目的とする。

##### 2. 各調査の研究課題

###### (1) 養成・採用の強化及び魅力発信(幼児教育施設への就職希望者を増やす)

これまで養成校や学生から「保育園＝働きやすいイメージ」「幼稚園＝教育」等の意見が挙がっており、幼稚園にネガティブなイメージが根付いている。その印象を緩和するため、従来の枠を超えた活動に取り組む。

###### (2) 離職防止・定着促進(働き方改革)

研修を受講するよりも実践することが最も大きな課題であると考え、本団体が社会保険労務士を派遣し、園が第三者からの助言を得ながら働き方改革に取り組める環境を作る。

##### 3. 全体のまとめ

新型コロナウイルス感染症対策により、研修会のハイブリッド開催(直前変更)や、養成校の意見交換会では参加人数を限定する等、調査研究に一定の制限があったことは否めない。また、園紹介パンフレットに関しては、半数弱の加盟園からは協力が得られず、加盟園間の意識の差が浮き彫りとなったのは大きな課題として残っている。

“私学”という独自の教育が認められている中で、多種多様な幼稚園を存続させ、園児減少に伴う休園を少しでも食い止められるように、幼稚園が一丸となり新たな取り組みに今後も果敢に挑戦していきたい。

## A-2) 調査研究の目的及び内容

### 1. LINE を利用したアンケート調査に基づく分析(養成・採用の強化及び魅力発信)

#### (1) 目的

厚生労働省のアンケート(保育の現場・職業の魅力向上検討会)で、養成校の学生が一般職に就くことを決めた理由として、「実習で保育をすることに自信を持つことができなかつたから」が約4割を占めていた結果が出ている。また、実際に若手教諭から実習時の話を聞いてみたところ、「雑用が多い」「勇気を振り絞って職員室に入っても、皆が下を向いて居心地悪い」「先生達が忙しすぎて、聞きづらい」等の意見が挙がってきた。

そこで、アンケートを通して学生から実習に対する率直な意見を聞き、幼稚園側が“保育へのモチベーションを高められるような実習の在り方”を考えるきっかけの一つになることを目的とする。

#### (2) 取組内容について

山梨県内および近隣県の養成校に調査を依頼し、若年層に身近なツール(LINE)を利用したアンケートを実施。内容を幼稚園実習に特化し、“実習先を選んだ理由”や“実習を通して上手いかなかったこと”等を取り入れ10問の設問を作成した。

チラシ(原本)の配布の他には、県の行政担当課(東京事務所)にも協力を仰ぎ、山梨県と協定締結している県外養成校あてにメールでの周知を図った。また、本団体公式Instagramへの投稿や Google リスティング広告への掲載を実施した。

#### 【アンケート実施期間】

令和4年12月1日～令和5年1月31日の2ヵ月間

#### 【目標】

県内回答者:300、県外回答者:100 程度

#### 【回答数】

合計:211(県内養成校:195、県外養成校:16)

#### 【工夫した点・留意点】

- 回答者の手間を極力少なくするため、記述式を少なくし、選択式の内容を主とした。
- アンケートツールにはLINEを利用し、回答者の中から抽選で200名にLINEポイントを付与することにした。ただし、LINEポイントにかかる経費は委託事業には含めず、本団体が負担している。

## 2. 幼稚園に関する情報一元化システムの構築およびインターネットを活用した情報発信(養成・採用の強化及び魅力発信)

### (1) 目的

これまでに、「就職活動時にインターネットで情報を調べたくても、県内にどれだけ幼稚園があるのか分からず、情報も散乱していて分かりにくかった。」という若手教諭のから意見や、「各幼稚園の規模・特徴・教育理念・園内研修情報等の詳細な情報が分からない。」といった養成校や行政からの声が多く聞かれていた。本団体ホームページに掲載していた加盟園の情報は非常に少なく、インターネットを利用した県内幼稚園に関する広報活動を積極的に進めていない状況であった。

そこで、全加盟園の情報を学生(あるいは保護者)に周知するため、本団体ホームページの内容を一から見直し、幼稚園の魅力を発信しながら、ネガティブなイメージの払拭を目的とする。

### (2) 取組内容について

#### 【実施内容】

- ホームページの内容を全て見直し、メインを各園詳細と求職者向け情報の発信に絞った。
- 各園詳細ページは、定員数・教育理念・園の特色・給食(お弁当)・研修体制・年間行事・特別支援の受け入れ…等を細かく掲載する。また、幼稚園・こども園・保育園の違いもあわせて掲載した。
- 求職者向け情報に対しては、現役教諭のインタビュー記事と動画を作成した。実際に加盟園に勤務している2～3年目の若手教諭4名に協力いただき、“実習の思い出”や“ピアノは弾けないといけないのか?”等について本音で答えてもらった。

#### 【スケジュール】

6/7 業者選定審査会→6/8 契約候補業者決定、候補者と協議開始→7/1 再委託契約締結(ホームページ公開 10/31 まで)→10/20 当初の見込みより各園のデータ作成等に時間を要したため、公開時期を 12/26 に延長→12/21 ホームページ公開

#### 【工夫した点・留意点】

- 最も重要であるにも関わらず未対応であった“スマートフォンからの閲覧”を最優先にデザインを依頼した。
- インターネットにある写真素材を使うとリアリティがないため、可能な限り加盟園の写真を活用して子ども達や教諭の自然な姿をPRすることに努めた。
- 就職先を探す学生にとって、園の規模は必要な情報であると考え、当初は各園の園児数を掲載することにしていた。しかし、公開後に一部から「園児数掲載は再考するべき」との声が挙がり、再検討の結果、1～3号ごとの利用定員もしくは年齢別の募集定員を記載することとした。

### 3. 「私学人材バンク登録制度」の見直し(養成・採用の強化及び魅力発信)

(補足説明:私学人材バンク登録制度とは…山梨県内の私立学校(幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・高等学校)に勤務する教職員の欠員等に応じ、臨時的に教職員の雇用を行う私学人材バンク登録制度を設け、教職員を希望される方々の登録を行う制度を本団体で定めている。)

#### (1) 目的

過去には登録者が数名いたものの、現在の登録者は0人という状態(登録延長が無い場合は3年で失効)であったが、本団体ホームページのリニューアルに伴い、制度および登録方法を見直すことで人材発掘の強化を図る。

#### (2) 取組内容について

郵送での履歴書提出を取り止め、ホームページ上の登録フォームへの入力に変更した。対象も臨時職員に限定せず、「幼稚園教諭・保育教諭免許取得者及び取得見込み者」とし、幅広い人材を募集する手法を取った。

### 4. 採用に繋がる実習の仕組み作り～実習園・職場体験情報パンフレットの作成～(養成・採用の強化及び魅力発信)

#### (1) 目的

前記1.のLINEアンケートと同様に幼稚園側の実習に対する意識を変えることを目的とし、加盟園の紹介パンフレットを作成する。ただし、このパンフレットの対象者は養成校に通う学生および保育者を目指している中高生であるため、掲載内容は園紹介だけでなく、教諭が保育の楽しさを語っているコメントや実習に関する情報も含める。学生が、実習園選びや園見学の参考にパンフレットを利用し、事前に園の雰囲気や特色を知れることで実習でのミスマッチを軽減させ、幼稚園と学生双方にとって有意義な実習になるよう働きかける。

#### (2) 取組内容について

##### 【実施内容】

7月:加盟園に紹介ページ掲載可否の照会(56園のうち31園が掲載可と回答)

10月:パンフレット作成のための事前説明会および実習に関する情報交換会をオンラインで開催、

10月後半～12月前半にパンフレット制作業者が31園を取材撮影

部数は6,000部とし、県内外の養成校および県内の中学校・高等学校に配布する。

##### 【工夫した点・留意点】

- パンフレットに掲載する写真は、制作業者の専属カメラマンに撮影してもらい、PR効果の高い写真を載せられるようにした。

- その園の雰囲気により掴みやすくなるよう園長の写真や似顔絵を掲載することにした。
- 中高生にも配布するため、奨学金貸付事業の情報や県内養成校一覧も掲載し、様々な角度からの情報を発信するよう努めた。

## 5. 養成校での就職説明会(養成・採用の強化及び魅力発信)

### (1) 目的

本団体が県内養成校に直接出向いて、幼稚園に関する説明や卒業生からのメッセージ等を伝えることで、幼稚園教諭という仕事をより身近に感じてもらい、新規採用の促進を図る。

### (2) 取組内容について

#### 【日時・場所】

- ① 8月1日(月)12:50～16:00 帝京学園短期大学
- ② 8月8日(月)14:00～15:50 山梨県立大学

#### 【実施内容】

以下の内容を、各自の担当ごとに役員が説明を行った。

- オープニング動画
- あいさつ
- 幼稚園・認定こども園の仕事
- 先輩からの体験談
- 個別説明会
- 給与等の処遇・福利

参加者数:帝京学園短期大学 2年生 41名、山梨県立大学 1～4年生 約65名

#### 【実施するプロセス・工夫した点】

- 養成校での就職説明会は以前から実施しており、全体説明の他にも各園の個別説明ブース(希望制)を設けてきた。過去にはやむを得ずオンライン開催や動画配信となった年もあったが、今回は両校ともに対面での開催が可能となった。
- 個別ブースでの説明は、園によって話をする時間が異なることや、積極的に自ら話を聞きに行く学生が少ないこともあり、参加園が同等に学生と話せないという問題点があった。そこで、帝京学園短期大学から「プレゼン形式にして説明会に参加している学生全員の前で園紹介をするのはいかがでしょうか」とご提案をいただき、試験的に取り入れた。

## 6. 個別ノー残業 Day・早上がり Day 制度(びよん Day)の普及およびノンコンタクトタイムの充実化(離職防止・定着促進)

### (1) 目的

職員が心に余裕を持って保育に携われるよう、本団体が社会保険労務士を派遣することで働き方改革を支援し、職員の離職を防ぎ幼児教育の質の向上を図る。

### (2) 取組内容について

#### 【実施内容】

労働環境改善への取り組みを希望する5園を募集し、本団体が社会保険労務士を派遣し取り組みを支援する。採択された園は、事前に目標を設定したうえで、年間を通して自園の労働環境の改善に取り組む。

#### 【実施するプロセス】

- 加盟園の猿橋幼稚園(大月市)が、過去に「ローテーションで一定の曜日は午後4時に職員が退勤する」という働き方改革に取り組み、その実績が厚生労働省の「働き方・休み方改善ポータルサイト」に掲載されている。その取り組みを他園にも広げることで、県内の幼稚園全体で働き方改革への意識を高められるのではないかと考え、労働環境を見直したいと考えているものの躊躇している園を支援するため、社会保険労務士の派遣を決めた。
- 既に社会保険労務士からサポートを受けている園も多数あると判断し、募集は5園と少なめに設定した。

#### 【工夫した点・留意点】

- 働き方改革は、研修を受講するだけではその場限りとなることが多く、行動に移すのは困難を極める。そこで、社会保険労務士指導の下、すぐに活動に取り組める体制を整えた。
- 依頼した社会保険労務士は、県内約30の認定こども園を顧客に持ち、保育業界に関する高い見識を持っており、事業の趣旨や取り組む課題等への理解と認識共有がスムーズに進んだ。
- 加盟園に募集した際も、社会保険労務士の情報を詳細に伝え、不安や疑問を取り払えるように工夫した。

## 7. 養成校との意見交換会の実施(養成・採用の強化及び魅力発信)

### (1) 目的

山梨県内養成校と幼稚園が一同に介し、学生の動向や幼稚園実習で不便に感じていること等を意見交換し、新たな情報を得て新規採用促進のための示唆を得る。



## (2) 取組内容について

### 【日時・場所】

8月3日(水)16:00～17:30 石和誠心幼稚園

### 【実施内容】

事前に以下の質問を養成校へ提示し、回答を纏めて資料を作成した。

- ① 近年の学生の動向やニーズ
- ② 学生は、いつ頃自身の進路に対して方向性を持ち始めるのか？
- ③ キャリアサポートセンターの機能について
- ④ キャリアサポートセンターを利用した学生の幼稚園等への就職実績
- ⑤ 離職やUターン転職の卒業生に対する養成校のコーディネート体制について
- ⑥ 幼稚園実習で学生や教員の皆様が不便に感じていること

参加者数：県内養成校6校6名、加盟園12園13名

### 【実施するプロセス】

- ・ 他県では以前から実施されているが、本団体は養成校と直にコンタクトが取りやすい環境であるため、団体単位で意見交換をする機会を設けてこなかった。
- ・ 今回の委託事業へ応募する際に、加盟園に「実施してほしい事業」を調査したところ「養成校との意見交換会」が多数を占めたことから開催を決めた。

### 【工夫した点・留意点】

- ・ 意見交換会当日に意見を出し合うのではなく、事前に質問を提示したことで当日の進行が円滑に進んだ。
- ・ 今回の委託事業では“実習”に重点を置いて活動しており、“養成校と学生が実習に感じている本音”を聞く場とした。
- ・ 本団体の下部組織である地区会で開催している事例研究会(養成校の教師が講師として毎回参加している)と同日に開催することで、養成校担当者との日程調整が順調に進んだ。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者は各地区からの代表者に限定した。

## 8. 設置者・園長向け研修会の実施(離職防止・定着促進)

### (1) 目的

少子化・共働き増加による未満児預かり需要の増加等、数十年前とは状況が目まぐるしく変わる中で、幼稚園の休園が目立つようになっている。地域社会に必要とされる園として存続させ、安定した職員の雇用を守るため、新制度を上手く活用出来る知識を学ぶ。

## (2) 取組内容について

### 【日時・場所】

7月25日(月)13:30～15:30 ベルクラシック甲府

### 【実施内容】

研修「コロナ禍と超少子化社会を迎えた園の在り方を考える」

講師：保育システム研究所 代表 吉田正幸 氏

参加者数：対面参加 11園13名＋行政担当者2名、オンライン参加 11園

### 【実施するプロセス】

- こども家庭庁・架け橋プログラムをはじめ国の施策が大きく動き出す一方、子ども・子育て支援新制度が10年目の見直しが目の前に迫っており、園の存続に関する情報共有が必須であると考え実施した。
- 講師は県外在住のため、JR 甲府駅からアクセスの良い会場(徒歩3分)を選んだ。

## A-3) 調査研究の成果及び今後の課題

### 1. LINE を利用したアンケート調査に基づく分析(養成・採用の強化及び魅力発信)

#### (1) 取組効果及び検証と普及・啓発について

##### 【自己評価】

- 授業内で回答してくれた養成校もあり、県内の回答数は概ね満足のいく結果となった。
- 県外養成校は、チラシ送付やメール配信での周知しか出来ず、回答数が伸び悩んだ。
- Google リスティング広告も取り入れてみたが、2週間で表示回数は3万弱あったものの、クリック数243、クリック率 0.8%という期待に反する結果に終わった。更に、クリックからアンケート回答までに行き着かず、回答数はわずか1件であった。

#### (Google リスティング広告)

The image shows a screenshot of the Google Ads interface. On the left, there is a preview of an advertisement for 'liff.line.me' with the text: '幼稚園実習に関するアンケートご協力をお願い！山梨県私立幼稚園連合会 幼稚園実習を終えた現役学生の皆様の声をお聞かせください。抽選で200名様にLINEポイント300ポイントプレゼント。' On the right, there is a list of ad copy variations (説明文) with their respective character counts:

説明文	文字数
説明文 1 幼稚園実習を終えた現役学生の皆様の声をお聞かせください。	56 / 90
説明文 2 抽選で200名様にLINEポイント300ポイントプレゼント	48 / 90
説明文 3 所要時間約5分。10問の設問に答えるだけ！	39 / 90

At the bottom of the list, there is a button labeled '説明文を追加' (Add ad copy).

## 【アンケート結果】

参考資料を参照

### (2) 他団体が同様の取組を行う場合の留意点

- アンケートの目的を明確にし、設問内容のテーマを絞ることが最も重要と考える。
- LINE を利用し調査会社に画面作成から集計まで依頼出来たのは、事務の簡素化に繋がった。自身達だけでは浮かばない視点やアイデアを得られたのも大きい。
- 養成校や学生を対象にしたアンケート調査は常日頃から膨大にあり、面倒なアンケートは不快感を与えかねない。手軽さを追求し、且つインセンティブを付与することで印象を和らげる必要がある。

### (3) 今後の課題について

- アンケート結果を基に、実習の在り方を見直しながら、幼稚園側が“保育は魅力ある仕事”であることを学生にしっかりと伝えていく必要がある。
- 県内養成校別に回答内容を分析し、毎年開催している就職説明会の内容に反映していく。

(アンケート案内チラシ)



## 2. 幼稚園に関する情報一元化システムの構築およびインターネットを活用した情報発信(養成・採用の強化及び魅力発信)

(URL) <https://kinder.yamanashi-shigaku.com/>

### (1) 取組効果及び検証と普及・啓発について

- 加盟園からは「見やすくなった」との声が挙がり、好評を得ている。
- 若手教諭からの意見がきっかけとなり、ホームページの完全リニューアルが達成出来た。

### (2) 他団体が同様の取組を行う場合の留意点

- ホームページに掲載するコンテンツは精査し、必要な情報へアクセスしやすい構成にする。
- インターネットにある写真素材は“偽物感”が強い。ホームページを保育の楽しさを伝える手段の一つとするのであれば、加盟園の写真を利用する方が好ましいと考える。

### (3) 今後の課題について

- 各園詳細ページは、現時点でも写真未掲載の園が複数あり、全園の情報が揃うよう引き続き該当園に依頼していく。
- 問い合わせフォームを新設したものの、現時点での問い合わせ件数は0件である。定期的にアクセス解析を行い、閲覧数の増加に繋がる方策を検討する。
- ブラウザで「〇〇幼稚園」と検索すると、本団体ホームページよりも人材派遣系のサイトが上位に表示される時があり、SEO 対策が今後の課題となっている。

### (新ホームページ)



若手教諭インタビュー動画&記事



### 3. 「私学人材バンク登録制度」の見直し(養成・採用の強化及び魅力発信)

#### (1) 取組効果及び検証と普及・啓発について

- 臨時職員に限定せず、登録方法もホームページ上からの入力にしたが、現時点では登録者はいない。
- 今後は Google リスティング広告等での PR を検討していく。
- ホームページは12月に公開したばかりなので、長期的なスパンで登録者を増やす方法を検討したい。

#### (2) 他団体が同様の取組を行う場合の留意点

- 幼児教育施設では人材確保は全国的な課題となっており、民間の紹介・斡旋会社とも競合するため、低コストで効果的な PR 方法を検討する必要がある。

#### (3) 今後の課題について

- 新卒者や中途採用者が人材紹介会社ではなく、本団体の求人登録を積極的に利用してもらうための広報活動を検討していく。

(URL) <https://kinder.yamanashi-shigaku.com/register/>

The image shows the top portion of a registration form titled "登録フォーム" (Registration Form). It includes a logo with the text "登録フォーム" and a sunburst graphic. Below the title, there is a paragraph of introductory text explaining the purpose of the form and the registration process. A section titled "登録の内容" (Registration Content) lists details such as the target audience (kindergarten teachers), the duration of the registration (3 years), and the registration method (via the form). Another section titled "重要事項" (Important Items) contains three numbered points regarding the form's validity, response requirements, and contact information.

The image shows the input fields of the registration form. It includes fields for "市区町村" (City/Town/Village), "専攻・その他" (Major/Other), "電話番号" (Phone Number), and "メールアドレス" (Email Address). There are three sections for "教員免許状" (Teacher License), each with a dropdown for "取得年月(申込)" (Acquisition Year (Application)) and a dropdown for "免許の種類" (License Type). Below these are fields for "最終学歴" (Final Education) with radio buttons for "大学" (University) and "学専" (Specialized School), and "卒業・修了(申込)" (Graduation/Completion (Application)) with a dropdown for "年" (Year), "月" (Month), and "卒業" (Graduation). A "備考" (Remarks) field is also present. At the bottom, there is a checkbox for "個人情報の取り扱いについて、プライバシーポリシーに同意する" (I agree to the handling of personal information in the Privacy Policy) and a "入力内容確認" (Check Input) button.

### 4. 採用に繋がる実習の仕組み作り～実習園・職場体験情報パンフレットの作成～(養成・採用の強化及び魅力発信)

#### (1) 取組効果及び検証と普及・啓発について

- メイン写真をプロカメラマンに依頼したことで保育の楽しさが伝わる素敵な写真が出来上がり、パ

ンプレットのクオリティが上がった。

- 教師だけでなく園長や園舎の写真も掲載し、各園の雰囲気がいよりに伝わりやすくなった。
- 全加盟園の情報が載っているのが理想ではあったが、半数弱の加盟園からは協力が得られなかったのが反省点である。
- パンフレット作成に協力いただいた31園には事前にオンラインで説明会を実施し、イメージ図を見せながら情報の共有が出来たため、大きな混乱はなく完成に至った。

(2) 他団体が同様の取組を行う場合の留意点

- 全加盟園を掲載する場合、ページ数が増えすぎると読んでもらえない可能性がある。
- 園への取材は効率的に回れるように近隣で取材日をまとめ、1日2〜3園ずつのスケジュールを組めるよう考慮する。
- 撮影日の急な変更依頼は避けられないため、余裕を持った日程の確保が必要。

(3) 今後の課題について

- 中高生への広報活動が大きな課題であり、行政に中高生向け広報活動の拡充を働きかける。

(パンフレットデザイン) パンフレット電子ブック版(リンク)



## 5. 養成校での就職説明会(養成・採用の強化及び魅力発信)

### (1) 取組効果及び検証と普及・啓発について

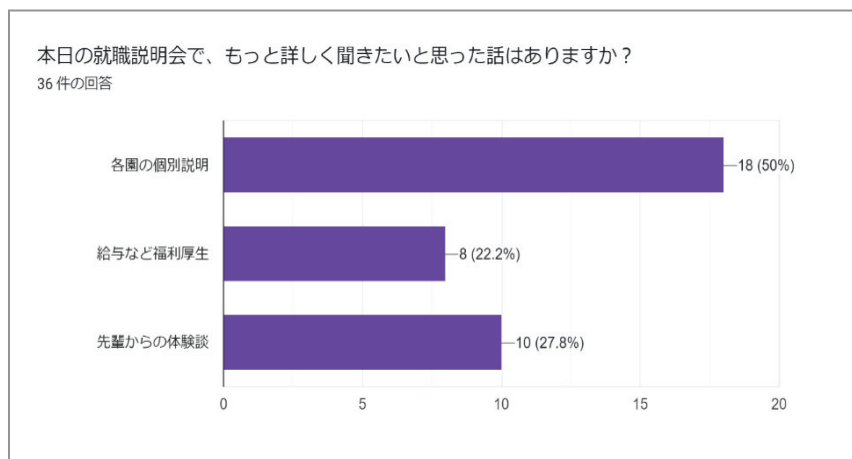
#### 【自己評価】

- 養成校の多大な協力のお陰で、事前に丁寧な準備を重ね、順調に開催することが出来た。
- 個別説明は、8/1:11 園、8/8:10 園と少ない参加となってしまう、来年以降は参加園を増やすための検討も必要と思われる。
- 団体としては、仕事の魅力や幼稚園の概要等に関する説明を重視しなければいけない一方で、過去の実施分も含め、学生からは給与や福利厚生に関する話を詳しく聞きたいという声も一定数あり、限られた時間の中で説明会の内容についてバランスを取るのが難しい。

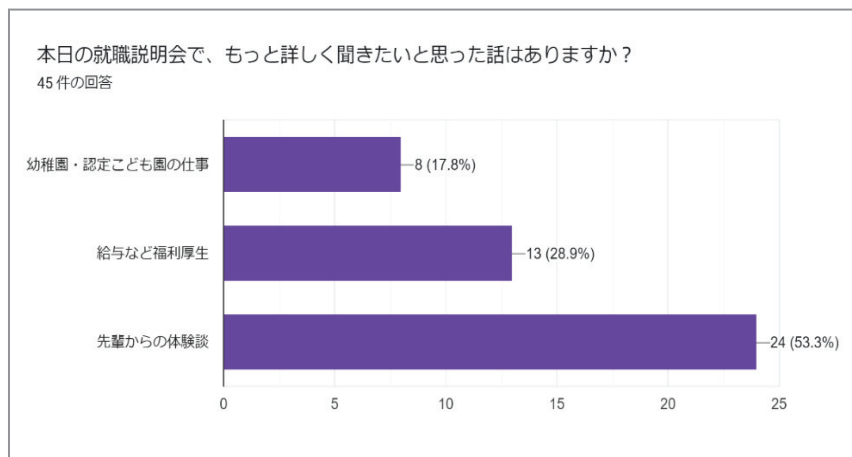
#### 【アンケート結果】回答数:90 件(8/1, 8/8ともに 45 件)

##### ① 本日の就職説明会について

##### 8/1 開催



##### 8/8 開催



## ② 説明会で他に聞いてみたい話

### 8/1 開催

園での行事の写真がもっと見て話を聞いてみたいです。

忙しい中ではあると思いますが職員の方と話してみたいです。

保護者対応等も聞いてみたい

どんな技術が必要か

### 8/8 開催

長期休みの様子／休みはどのような感じなのか／どのくらい休みがとれるのか

人間関係／職場の雰囲気／各園の特色

就職1年目の仕事の流れ

幼稚園教諭のやりがいだけでなく、挫折した経験など

やりがいなども聞いてみたいです。

夏休みはどんな仕事をしているのか

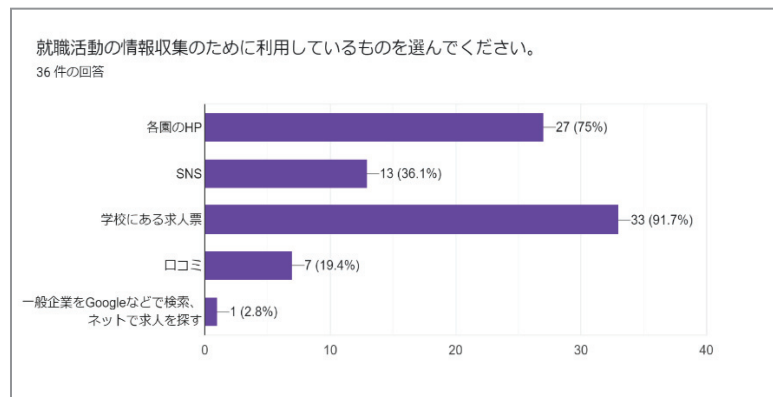
子どもと関わる以外の部分の仕事について

幼稚園で仕事を始めた際に一番大変だったことは何か。

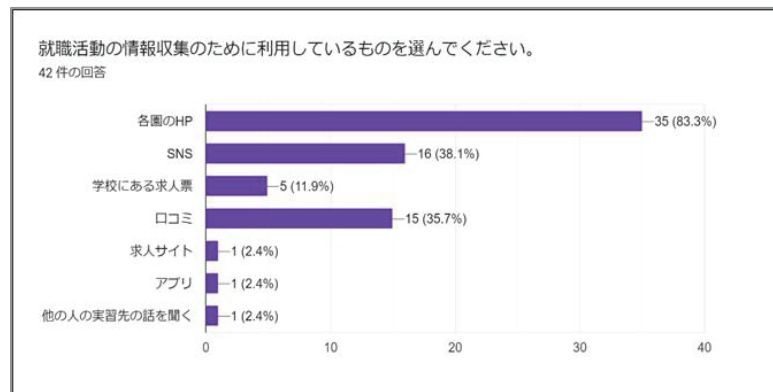
理想と現実で異なる点はあったのか？またどのような点であったのか？

## ③ 情報収集のためのコンテンツ

### 8/1 開催



### 8/8 開催





④ 就職活動時に知りたい情報

8/1 開催

回答	回答数
給与など福利厚生・休日	10
園・職員の雰囲気	9
活動内容	6
求める人物像	6
園の特色	5
保育、教育内容・特徴等	3
試験方法・募集人数など	2
園の規模	2
職員構成	1
仕事の流れ	1

8/8 開催

回答	回答数
園・保育者の雰囲気	12
給与などの処遇	7
園の特色・独自の活動	7
人間関係	6
勤務に関する事(仕事の流れ・日数・休暇・休みの時の保育)	6
採用試験・面接内容・求める人材像	5
現場の声・マイナスな面(挫折した経験など)	4
就職活動について	1
研修について	1
子どもと関わる以外の仕事内容	1
様々な業種で悩んでいる時の情報の取捨選択の仕方	1
いつから見学や試験を実施しているのか	1
ピアノを弾けなければならないか	1

⑤ 実習で困ったことや大変だったこと

8/1 開催

回答	回答数
実習ノート(日誌・指導案)	6
子どもへの対応(一斉に来た時・年齢別など)	6
子ども同士のトラブル対応	4
ピアノ	3
責任実習	3
担任の先生との関わり方・質問のタイミング	2
声掛けの仕方	2

8/8 開催

回答	回答数
トラブル時の対応	3
イヤイヤ期の子どもとの関わり	1
クラス全体をまとめること	1
先輩職員との関係	1
子どもとの話題作り	1
子どもに自分から関りにいけない	1

(2) 他団体が同様の取組を行う場合の留意点

- 定期的実施している内容や、地域差も大きく影響する(養成校数や団体との関係性)と考えられるため、地域の実情や過去の参加者の感想を踏まえて行う必要がある。

(3) 今後の課題について

- 説明会が近年実施出来ていない養成校もあるため、養成校側の意向を聞きながら、説明会の在り方を再度見直す必要がある。
- 各園の説明を行う際は、プレゼン形式にすると、園ごとの特色を出しながら参加者全員に公平に話せてメリットが大きいことが判明した。来年度以降の説明会は、個別説明ではなくプレゼン形式を主として準備を進める。

(当日の様子)



## 6. 個別ノー残業 Day・早上がり Day 制度(びよん Day)の普及およびノンコンタクトタイムの充実化 (離職防止・定着促進)

(1) 取組効果及び検証と普及・啓発について

### 【自己評価】

- 当初は2園からの応募しかなかったが、最終的に4園の参加が得られた。
- 過密なスケジュールではあったが、業務の見直しや休憩室を新たに設けて日中の休憩時間を確保する等、4園全てが精力的に活動しており短期間でも多大な成果を生み出した。
- うち2園は、社会保険労務士と来年度以降の個別契約を締結した。当初の計画が頓挫してしまわないように、残り2園も含め、継続的に進捗状況をフォローしていきたい。

### 【実施園からの感想(一部抜粋)】

- チーム会議の立ち上げをとおして、職場改善を自分たちで考えていこうという意識を高めることができた。休憩時間・休憩場所の明確化が出来た。保育業務についてのあり方について、仕事の分量・課題について検討を行うことができて良かった。
- 労務士による講話を受講し、保育業界について、第三者的立場での見解を聴くことができ、自分たちの置かれている現状を他と比較して考えるきっかけとなった。保育業務の見直しの必要性や同僚とのコミュニケーションの大切さを実感したという感想が聞かれた。

- 初めは、働き方改革の第一歩として休憩を取ることに着目し取り組んでいった。その結果、業務の見直しの必要性や職員の意識改革などの課題が見えてきた。先生たちの奉仕の心や犠牲のもとに成り立つ保育ではなく、質の向上をこれからも求めながら、先生たちが心身ともに健康で働き続けられる職場を目指していきたいと思う。また、単に仕事を減らすことで、この職業ならではの“楽しい”時間が失われないよう気を付ける必要があると感じた。“楽しくて、厳しい、素敵な仕事”であることを誇りに感じながら働くことの出来る環境づくりに取り組んでいきたいと思う。
- 毎回当園で起きている問題点を細かく分析、整理いただくことで、取り組みを進める方向性や改善の糸口のヒントを多くいただくことができた。できることから実践し、実践を検証したうえで次の段階に進めていく手法だったので、無理なく取り組むことができた。
- 職員も取り組みを始めたことで自分たちの労働環境について考えるきっかけになり、今まで難しいと思っていたことも考え方の方向性を少し変えることで実現することができること、さらにそれを実現することが自分たちの労働環境の改善につながっていくことが実感できたようだ。まだまだ継続した取り組みをすることは難しい時(大きな行事の準備時期)もあるが、職員の意識改革も含め少しずつ進んでいるようである。

## (2) 他団体が同様の取組を行う場合の留意点

- 働き方改革は、研修を受講するだけでは実行に移すのが難しく、「何から始めたらいいのか？」と困惑すると推察し、実際に社会保険労務士を派遣し、最初の一步を踏み出せる環境を提供した。
- 保育業界の知識を十分に兼ね備え、かつ問題点(休憩時間等)も認識している社会保険労務士を選定することが非常に重要である。
- 「既に他の社会保険労務士と契約しており、興味はあるが応募出来ない」園への対応を考案する必要もある。

## (3) 今後の課題について

- 社会保険労務士の熱心な活動のお陰で予想以上に効果が大きく現れたため、実績報告会を行い、情報を加盟園間で幅広く共有していきたい。
- 管理職や中堅以上の教職員に対する意識改革への促し方が大きな課題である。

## 7. 養成校との意見交換会の実施(養成・採用の強化及び魅力発信)

### (1) 取組効果及び検証と普及・啓発について

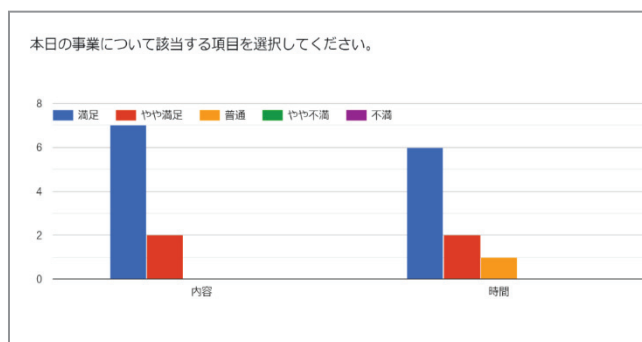
#### 【自己評価】

- 事前に幼稚園側の質問事項を取りまとめ、意見交換会で養成校から回答してもらおう等、効率的に会を進行することが出来た。

- これまで聞けなかった養成校の率直な意見を伺い、幼稚園側から養成校に対する要望を伝えるだけでなく、双方の意見を交換しながら現状を認識し合えたのが非常に有意義であった。
- 養成校の先生方の席をステージ上に設けてしまい、距離感が出てしまった。
- 参加者からは好評を得ており、来年度以降も本団体の事業として継続する予定である。

【アンケート結果】参加園：12園、回答園：9園(回答率：75%)

① 本日の事業について



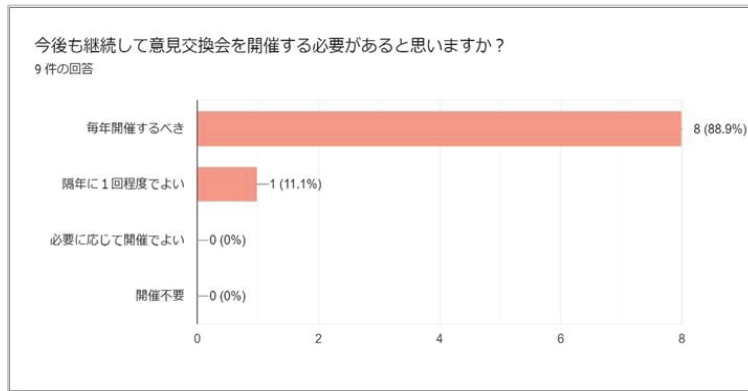
② 本日の意見交換会で、参考になったと思う情報・新たに気付いた点や参加した感想

県内の教員確保においては、園・養成校・学生と3者ともに考える問題があると感じた。
実習中の学生さんへの対応。
養成校の先生方の生のご意見を伺うことができた。
幼稚園の教諭の働き方を見直すこと。教育は幼稚園でなくてはならないと思う。
養成校の状況が分かった。
地区研究会を学生に開放。ステージ上に先生方を上げない方が良い。同一フロアにした方が話しやすかったと思う。
保育のアルバイト(学生)をもっと受け入れて、就職する前に現場を知ってもらえると良いと思いました。学校は学生を育て、園が学生を”先生”へと育てていくことをあらためて心に留めた。
幼稚園実習で学生や教員が不便に感じていることの具体的な学生さんの意見は実習を受け入れる際に気を付けていきたいことです。

③ 本日の意見交換会を通じて、幼稚園団体としての課題・外部から求められていること・新たに取り組む必要があること

魅力的なイメージの発信
保育園に負けないPRの方法。
自園のHPが学生さんからどのように映っているか改めて検証したいと思います。
園の教育、保育の見直しと広報の手段検討
保育園との競争、企業との問題など出てきたが、それ以前に山梨での教員を目指す学生の低下は問題だと感じた。養成校と一緒に高校生などへのアプローチも必要と感じた。
団体または各園として、学生さんが幼稚園研究会への参加ができる場を作る。協会としてインターンシップ、バイト等の情報。
本日参加した先生たちは本当に参考になることが多かったと思います。参加できなかった先生達と本日の振り返りができると良いと思いました(できれば全園)。
園長と現場の先生達の考えが違っている(違っていないとも言えない)という点を互いに努力して改善する。変えることと変えないことについて話し合い新人教諭を迎えて欲しいです。

④ 今後の開催について



### (2) 他団体が同様の取組を行う場合の留意点

- 養成校の率直な意見を聞けるような関係性の構築が重要となる。
- 効率的に意見交換会を行うために、話し合うテーマを明確にしておく必要があると考える。

### (3) 今後の課題について

- 幼稚園側の要望を一方向的に伝えてしまう場面も見受けられたため、加盟園には「何かを要望するのではなく、双方にとって有益な情報を交換する場である」ことを事前に伝えたくて参加を募る。
- 継続性を持たせた取り組みにするためにも、新たなテーマや意見交換の内容を精査していく。

### (当日の様子)



## 8. 設置者・園長向け研修会の実施(離職防止・定着促進)

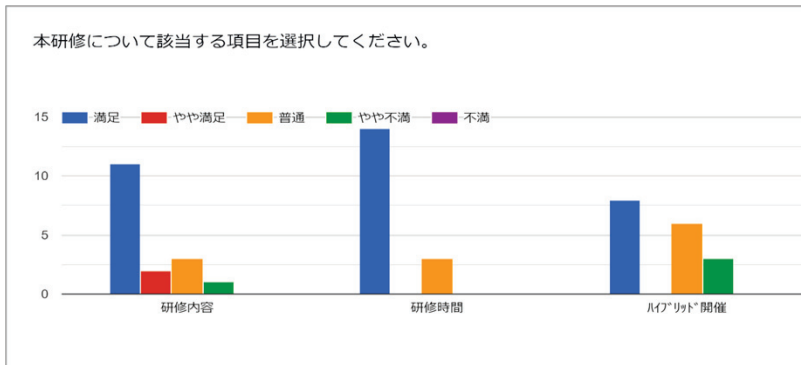
### (1) 取組効果及び検証と普及・啓発について

#### 【自己評価】

- 講師に吉田正幸氏を迎え、少子化の現状や子ども家庭庁に関する情報等、様々な角度から幼稚園が今後に取り組むべき課題に対する情報を得られ、有意義な研修となった。
- 新型コロナウイルス感染症対策により、開催直前でオンラインとのハイブリッド開催を余儀なくされた。急な変更での準備不足から音響のトラブルで、オンライン参加園へ音声が届かない結果となってしまった。
- 行政担当者にも参加を募り、保育現場の現状を聞いてもらう良い機会となった。

【アンケート結果】参加園:22園、回答数:17園、回答率:77%

#### ① 本日の事業について



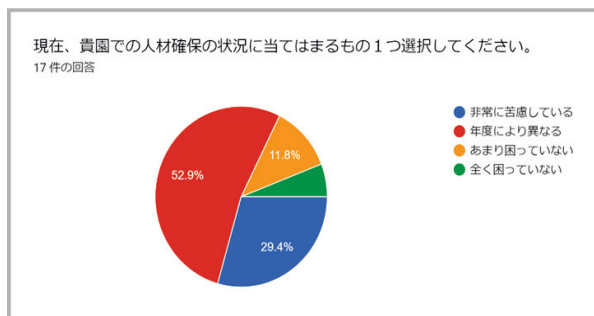
#### ② 本日の研修会で、参考になったと思う情報や参加した感想

所得層別の発達遅延率や言葉の量と質のデータが興味深い。
将来の課題を明確に説明していただき参考になった。
職員配置基準や子ども家庭庁やこれからの幼児保育の現実について大変参考になった。
新制度の勉強をして、自分自身世の中の動き、状況に合わせて職員に伝えられたらと思います。
現在の少子化の状況、今から園に求められる機能など具体的に情報をいただき大変参考になりました。
0号認定児の支援の大切さについて改めて感じました。
保育に欠ける子ではなく保育を必要とする子である事を認識すること
Zoomで参加させていただきました。残念ながら、音声が反響してしまい、ほとんど聞き取ることができませんでした。大変興味深い内容だったので、残念でした。資料を参考にさせていただきます。
少子化は避けられず、園の運営形態について考えなければいけない時期ということを重々承知しているが、今日の講演を聞いて背中を押してもらったような気がします。ありがとうございました。
これまで保育拡大ありきの子ども子育て会議が、保育縮小の方向に進んでいく。私学助成はますます苦しくなっていく。
アウトリーチ型支援について参考になりました。子育て支援の包括的アプローチについて、今後、自園の課題として検討していきたいと思います。
山梨県の園児数の変化の現状を資料から知ることができ、少子化を実感した。これからの園児数確保への課題と同時に"0号認定"、保護者への支援の必要性を知ることができた。
会話や肯定的な言葉が多い家庭の方が、幼児の成長を促すということは、園での園児との関わり方にも通ずるものと思いい、実践していきたいと思いました。

#### ③ 本研修を受講し、"超少子化社会"を迎えて、幼稚園・こども園が地域に必要とされるために何が必要か？

信頼関係
地域社会との連携
地域貢献。市にとって、地元にとって、どれくらい必要な園なのか考えていきたい。
子ども一人格者として尊重し、子ども主体、子どもの育ちを優先させた保育。大人の都合で子どもを振り回さない。
地域や世の中に必要とされる園にすることを常に考え続けなければならないということ。
質の高い保育、その為には、たくさんの人材が必要だと思う。
園、保護者、地域にも目を向け連携していくことが大切だと思いました。
問題を抱えている家庭への支援が必要だが、具体的にどう支援していけばいいか知りたいです。
1号、2号、3号、新2号とのカベをなくして欲しいです。
その答えを知りたくて参加したのですが。
行政との密な連携、特に発達支援や見守りの必要な家庭に対してどのように接していくのか、専門に関わる機関の設立や連携
地域に必要とされるには、市場のニーズに答えることが大切だと思います。しかし保護者に迎合するあまり、保育の質が担保されていないことが課題だと思います。
保育の充実さを職員で勉強して子育てしやすい環境を地域に伝え、安心して預けもらえるよう、一緒に子育てをたのしめるように交流を持ちたいです。
上の質問と重なりますが、在園児への保育の質の向上、0号認定、保護者への支援など地域のニーズがどうなのか考えたい。

#### ④ 現在の、自園の人材確保の状況について



#### ※理由

卒園生や子育てを終えたOBが園へ戻ってきてくれるため	離職する職員があまりいない。
育休職員の復職時期による	良い人材がいれば、必要でない場合でも採用している
園で就職説明会をしても集まらなくなってきた。	就職希望者が減っている。
実習生からの就職希望がなく、パート教諭に忙しい時に頼んでいる	
職員のライフステージに合わせた勤務形態の変化など常時状況が変わっています。	
特別な支援が必要な園児数が多い年度は人手が必要で大変だが、公定価格における療育支援加算の単価が低すぎて、人員を確保できない。	

#### ⑤ 団体で実施してほしい事業や活動について

幅広い分野の職員研修／職員配置基準を変えてほしい／預かり保育補助など学生へ園からの求人を集めて紹介

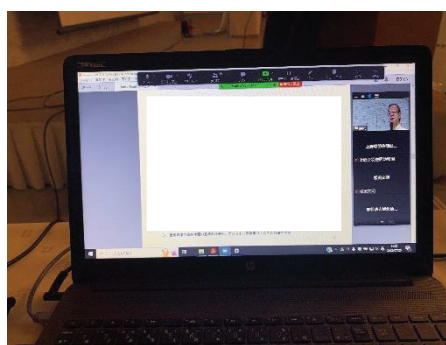
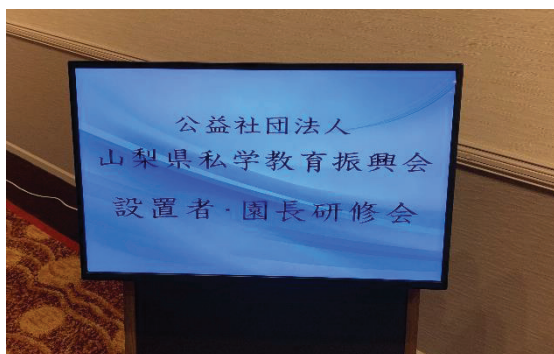
##### (2) 他団体が同様の取組を行う場合の留意点

- 幅広い見識で理想論だけでなく現実的な視点を持った実績のある講師を依頼することが重要である。

##### (3) 今後の課題について

- 園児数の減少や後継者不足等、幼稚園を取り巻く課題が減ることはない。その中で、可能な限り多くの幼稚園が継続し、県内の子どもを取り巻く環境が魅力あるものになるよう、加盟園間での

情報共有や意見交換が必須となる。



## B) 実施体制について

### B-1) 具体的調査研究体制

#### (1) 調査研究実行委員会体制

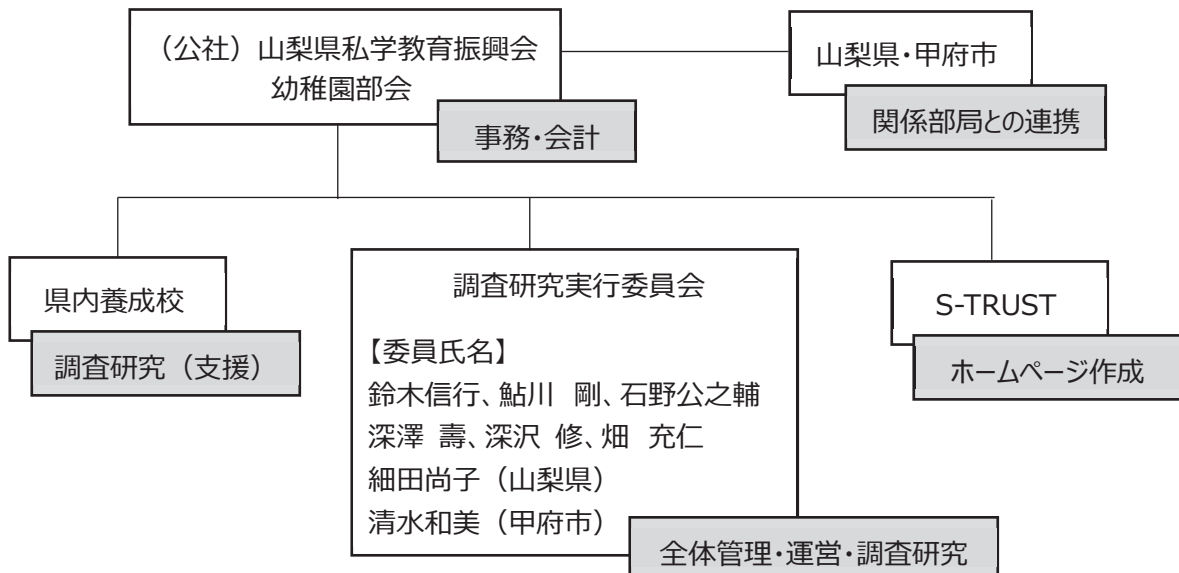
実行委員氏名	所属機関 所属・職名	具体的な役割分担	従事期間	エフォート (専従貢献度)
鈴木信行	聖愛幼稚園 理事長・園長	事業総括 ノンコンタクトタイム	R4.6.6～ R5.3.31	(%) 10
鮎川 剛	かおり幼稚園 園長	就職説明会 その他	R4.6.6～ R5.3.31	10
石野公之輔	いづみ・みたま幼稚園 理事長	実習園パンフレット その他	R4.6.6～ R5.3.31	10
深澤 壽	甲府西幼稚園 理事長・園長	設置者・園長研修会 その他	R4.6.6～ R5.3.31	8
深沢 修	貢川幼稚園 理事長	養成校との意見交換会 その他	R4.6.6～ R5.3.31	8
畑 充仁	塩部幼稚園 副園長	HP・アンケート その他	R4.6.6～ R5.3.31	10
細田尚子	県子育て支援局 子育て政策課 課長	広報等	R4.6.6～ R5.3.31	3
清水和美	甲府市子ども未来部 子ども未来総室 子ども保育課 係長	広報等	R4.6.6～ R5.3.31	3



(2) 研究協力団体の概要

	団体名等	団体等の活動概要
1	山梨学院短期大学	
2	山梨県立大学	
3	山梨大学	
4	帝京学園短期大学	
5	帝京科学大学	
6	大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校甲府校	
7	山梨県	

B-2) 組織図及び体制図



公益社団法人 山梨県私学教育振興会 御中

## 幼稚園実習生へのアンケート調査 結果ご報告書

---



Just-Research

2023年2月28日

## 目次

---

調査概要	2
調査結果	
調査結果サマリー	4～5
調査結果詳細	
1. 出身地	7
2. 在籍している学校名/学年	8
3. 希望する就職先	9
4. 幼稚園教諭・保育士になろうと思った理由	10
5. 幼稚園の実習先を選んだ理由	11
6. 実習を経験して「良かったこと」	12
7. 実習を経験して「課題だと感じたこと・上手いかなかったこと」	13～14
8. 実習先への就職意向	15
9. 実習先への就職意向の回答理由	16
参考資料	

## 調査概要

1. 調査目的 : 幼稚園実習の在り方を見直すため、学生のリアルな声を聞き、保育に対する意欲を高める雰囲気醸成に努めることを目的とする。
2. 調査方法 : LINEリサーチのオープン型リサーチアンケート調査
3. アンケートの告知・配布方法 : QRコードを印刷したチラシを配布、下記チラシおよびURLをSNS (Instagram) にアップ、必要に応じて、養成校あてにメールを送信し、学生に周知



4. 調査対象 : 県内外の幼稚園教諭・保育士養成校に通い、幼稚園実習を修了した短大1・2年生、四大3・4年生および専門学校生
5. サンプル数 : 211 s

大学								短期大学			専門学校		合計
帝京科学大学	山梨県立大学	帝京平成大学	山梨大学	東京家政大学	相模女子大学	百合女子大学	玉川大学	山梨学院短期大学	帝京学園短期大学	秋草学園短期大学	福祉保育専門学校甲府校	大原簿記情報ビジネス医療専門学校	
31s	21s	10s	3s	2s	1s	1s	1s	107s	31s	1s	2s		211s

6. 調査期間 : 2022年12月1日 (木) ~ 2023年1月31日 (火)
7. 謝礼 : 抽選で200人にLINEポイント300ポイントを付与

## 調查結果

---

## 調査結果サマリー

### ■ 回答者プロフィール

- ・アンケートを回答した学生の出身地は、「山梨県内」72%：「県外」28%の比率。
  - ・ほとんど(9割)が山梨県内の学校に在籍。約半数(51%)が「山梨学院短期大学」。
  - ・学年については、短大在籍が多いこともあり「短大2年」65%が最多。
  - ・希望する就職先(第一希望)については、「保育園」24%と「認定こども園」22%が、「幼稚園」13%を上回っている。
- 希望1～3位計は、<短大2年>で「保育園」68%が高く、<大学3・4年>で「小学校」23%が高い。(大学3年では「企業主導型保育所」26%も高い)

### ■ 幼稚園教諭・保育士になろうと思った理由については、「子どもが好きだから」83%と最も高い。やや離れて「幼稚園や保育園の先生に憧れて」49%、「やりがいのある仕事だと思う」33%がTOP3。

<短大2年>では「幼稚園や保育園の先生に憧れて」56%と、「やりがいのある仕事だと思う」40%が全体よりも高くなっている。一方<大学3・4年>は全体より低い回答率。➡<大学3・4年>よりも<短大2年>の方が、保育に対するモチベーションが高そう。

### ■ 幼稚園実習先を選んだ理由は、「その園に行く勉強になった」26%、「保育内容が良いと聞いていた」24%、「出身園だった」18%の順。

<大学3年>で「その園に行く勉強になるから」16%や「就職先として興味を持っていた」3%が全体よりも低くなっている。<大学4年>でも「就職先としても興味を持っていた」5%と低い。

### ■ 実習を経験して良かったことは、「保育の進め方や声のかけ方が勉強になった」「担当の先生が的確なアドバイスをくれた」がともに71%、「保育者としての自分自身の課題が見つかった」66%、「実習園が自分を温かく受け入れてくれた」61%。

実習先での就職<意向あり>の方が<意向なし>よりもすべての項目の回答率が高いことから、【良い経験】が【実習先での就職意向】へプラスに影響することが窺える。

実習先を選んだ理由別にみると、<保育内容が良いと聞いていた>や<その園に行く勉強になった>では各項目の回答率が高く、その園について事前に情報収集している人は、充実した実習生活を送れている様子。一方(n数が少なく参考レベルだが)<大学から割り当てられた>では、各項目の回答が少なく、実習を通して良い経験は前者に比べて少ない様子。

### ■ 実習を経験して「課題だと感じたこと・上手いかなかったこと」は、「保育計画の作成」31%と「実習ノートを書く時間の確保」29%がトップ2。やや離れて「職場の雰囲気」「自分自身のモチベーションが保てなかったこと」15%や「自分は保育者に向いていないと感じた」14%、「担当の先生に相談できる体制」13%が続く。

<大学3・4年>では、<短大2年>に比べ「保育計画の作成」や「実習ノートを書く時間の確保」「職場の雰囲気」を課題と感じている様子。

## 調査結果サマリー

### ■ 実習先の幼稚園への就職意向は45%、意向なしは55%(中立含む)。

実習先を選んだ理由別にみると、<出身園だった> <保育内容が良いと聞いていた> <その園に行く勉強になったから> では全体に比べて「思う計」が高くなっている。また、n=30未満で参考値となるが<就職先として興味を持っていた> のTOPBOX「とても思う」が5割を超え目立っている。

### ■ 実習先への就職意向の回答理由について、<就職意向あり> 回答者95人の理由は、

「園の雰囲気良かった」79%と最も高く、次いで「園長や先生達が優しくかった」62%、「保育内容良かった」46%と続く。

一方<就職意向なし(中立含む)> 回答者116人の理由は、「園の雰囲気が自分に向いていない」37%、「他園に就職を希望している」「保育内容が自分に合っていない」28%、「園長や先生たちの指導が自分に合っていない」25%が挙げられる。

希望する就職先や、幼稚園教諭・保育士になろうと思ったきっかけ、実習先を選んだ理由をみるとわかるように、短大2年生の方が、大学3・4年生に比べて、保育へのモチベーションが高い傾向がみられた。

そのほか、実習園先を主体的に選んだ学生については、充実した実習期間となった模様。

実習での良い経験が、実習先での就職意向へプラスに影響を及ぼすこと、実習先へ就職意向のある学生の“園の雰囲気”、“園長や先生達が優しくかった”の評価が高いことから、受け入れ先の幼稚園での対応にも注視していく必要があるか。

(自由回答の内容に“実習生への扱い”に対しての不満が出ていることにも留意)

## 調査結果詳細

### ■ 分析軸の定義

#### <出身地>

- ・山梨県内：設問1出身地「山梨県」の回答者
- ・山梨県外：設問1出身地「山梨県以外」の回答者

#### <学校の場所>

- ・山梨県内：設問2在籍学校名/キャンパスの所在地が「山梨県内」の回答者
- ・山梨県外：設問2在籍学校名/キャンパスの所在地が「山梨県外」の回答者

#### <学年>

- ・短大2年：設問2在籍学校名で「専門学校、短期大学」かつ設問3学年で「2年生」回答者
- ・大学3年：設問2在籍学校名で「短期大学、大学」かつ設問3学年で「3年生」回答者
- ・大学4年：設問2在籍学校名で「大学」かつ設問3学年で「4年生」回答者

#### <実習先での就職意向>

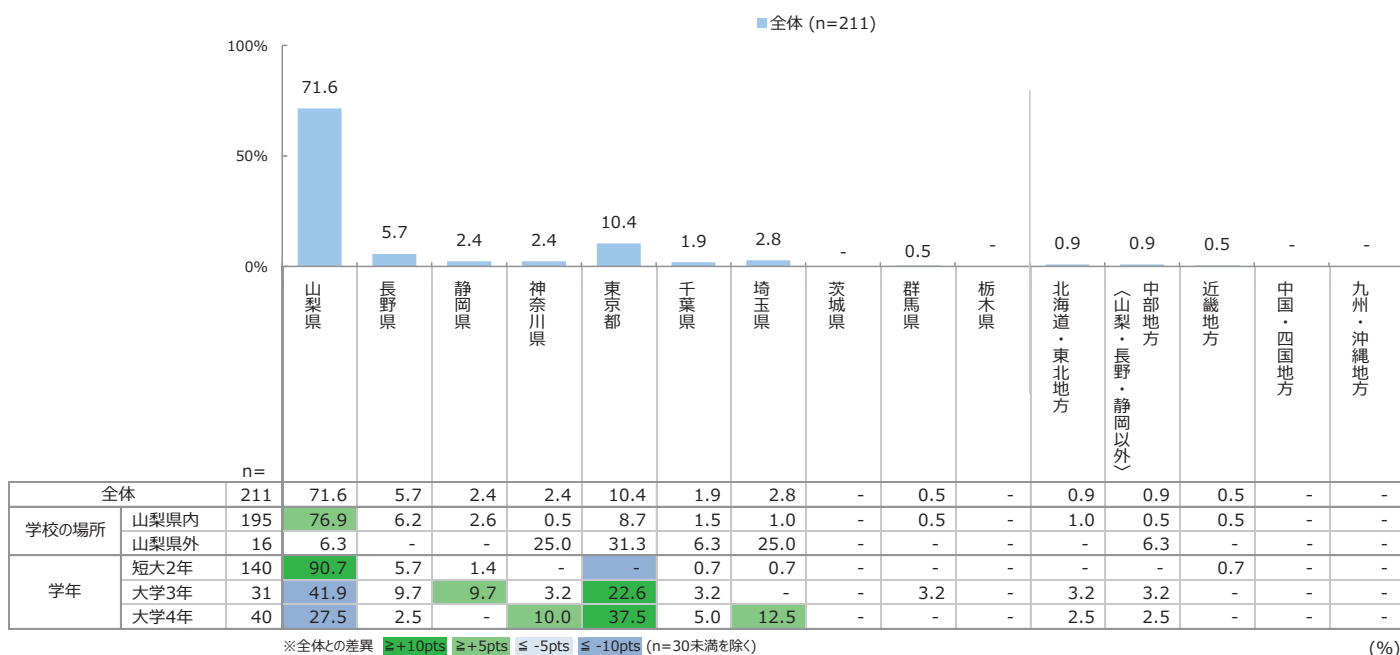
- ・意向あり：設問8で「とても思う+まあ思う」回答者
- ・意向なし：設問8で「どちらでもない+そう思わない(あまり+全く)」回答者



# 1. 出身地

■ アンケート回答した学生の出身地は、「山梨県」72%が最も高く、7割を占める。「東京都」は1割程度。

Q. あなたの出身地は？

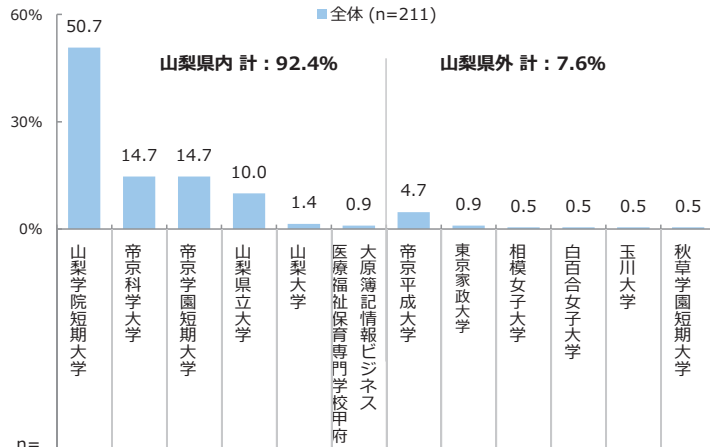


## 2. 在籍している学校名/学年

- 在籍している学校については、「山梨県内」92%に対して「県外」8%で、ほとんどが山梨県内の学校に在籍している学生。  
学校別の比率をみると、「山梨学院短期大学」51%(107人)が半数を占める。ついで「帝京科学大学」「帝京学園短期大学」が15%、「山梨県立大学」10%と続く。県外の学校については「帝京平成大学」5%(10人)が最も多くなっている。
- 学年については、「短大2年」65%が最も高い。※山梨学院短期大学の学生が多いことが影響している

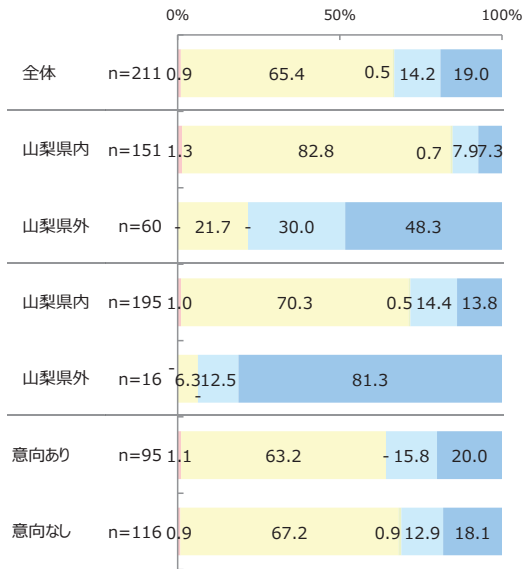
### ■ 在籍している学校名

Q. 現在、あなたが在籍している学校名（大学・専門学校）を教えてください。／現在、何年生ですか？



### ■ 学年

■ 専門2年   ■ 短大2年   ■ 短大3年  
■ 大学3年   ■ 大学4年



		全体	山梨県内	山梨県外	専門2年	短大2年	短大3年	大学3年	大学4年
出身地	山梨県内	151	64.2	4.0	19.2	9.3	1.3	1.3	-
出身地	山梨県外	60	16.7	41.7	3.3	11.7	1.7	-	16.7
学校の場所	山梨県内	195	54.9	15.9	15.9	10.8	1.5	1.0	-
学校の場所	山梨県外	16	-	-	-	-	-	62.5	12.5
学年	短大2年	140	75.7	-	22.1	-	-	1.4	-
学年	大学3年	31	3.2	45.2	-	35.5	9.7	-	-
学年	大学4年	40	-	42.5	-	25.0	-	25.0	5.0
実習先での就職意向	意向あり	95	49.5	12.6	12.6	8.4	3.2	1.1	8.4
実習先での就職意向	意向なし	116	51.7	16.4	16.4	11.2	-	0.9	1.7

※全体との差異   ■ ≥+10pts   ■ ≥+5pts   ■ ≤-5pts   ■ ≤-10pts (n=30未満を除く)   (%)

### 3. 希望する就職先

■ 希望する就職先(第一希望)については、「保育園」24%と「認定こども園」22%が、「幼稚園」13%を上回っている。※1-3位回答も同様の傾向。

➢ 第一～第三希望の就職先を学年別でみると、<短大2年>では、「保育園」68%が高くなっている。一方<大学3・4年>では「小学校」23%が高い傾向。(大学3年では「企業主導型保育所」26%も高い)

Q. あなたが希望する就職先は？

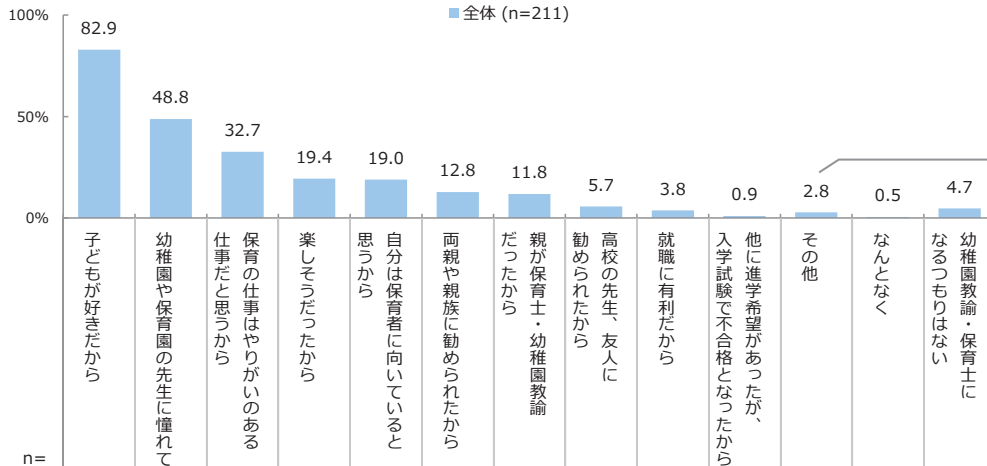


## 4. 幼稚園教諭・保育士になろうと思った理由

■ 幼稚園教諭・保育士になろうと思った理由については、「子どもが好きだから」83%と最も高い。やや離れて「幼稚園や保育園の先生に憧れて」49%、「やりがいのある仕事だと思う」33%がTOP3。

- ▶ 学年別にみると、＜短大2年＞では「幼稚園や保育園の先生に憧れて」56%と、「やりがいのある仕事だと思う」40%が全体よりも高くなっている。一方＜大学3年＞では、全体でTOP3に挙げられる項目の回答率が低く、「幼稚園教諭・保育士になるつもりはない」がやや高い。＜大学4年＞でも「やりがいのある仕事だと思う」15%と低く、「就職に有利だから」10%が全体よりもやや高いのが特徴的。
- ▶ ＜大学3・4年＞よりも＜短大2年＞の方が、保育に対するモチベーションが高そう。

Q. あなたはどのように幼稚園教諭・保育士になろうと思いましたか？（複数回答可）



その他回答	件数
資格が欲しかったから	2件
稼ぎ先が保育園を運営しているため	1件
自分が成長する中で出会った先生方に憧れたから	1件
自分の好きなことをしながら子どもたちと楽しみたいと思ったから	1件
小学校教師をめざしています。(幼児保育を学んだ上で、小学校教師として子ども達に関わりたいから。)	1件

n=		全体	子どもが好きだから	幼稚園や保育園の先生に憧れて	仕事の仕事はやりがいのある仕事だと思うから	楽しそうだったから	自分は保育者に向いていると思うから	両親や親族に勧められたから	親が保育士・幼稚園教諭だったから	勧められたから	高校の先生、友人に勧められたから	就職に有利だから	入学試験で不合格となったから	他に進学希望があったが、	その他	なんとなく	幼稚園教諭・保育士になるつもりはない
全体	211	82.9	48.8	32.7	19.4	19.0	12.8	11.8	5.7	3.8	0.9	2.8	0.5	4.7			
出身地	山梨県内	151	86.8	51.0	35.8	17.9	18.5	13.2	10.6	6.0	2.0	1.3	2.6	0.7	3.3		
	山梨県外	60	73.3	43.3	25.0	23.3	20.0	11.7	15.0	5.0	8.3	-	3.3	-	8.3		
学校の場所	山梨県内	195	84.1	48.2	34.4	19.5	20.0	13.3	11.3	6.2	2.6	1.0	2.6	0.5	4.6		
	山梨県外	16	68.8	56.3	12.5	18.8	6.3	6.3	18.8	-	18.8	-	6.3	-	6.3		
学年	短大2年	140	87.1	55.7	40.0	20.7	17.1	14.3	12.1	6.4	2.1	0.7	2.9	0.7	2.1		
	大学3年	31	67.7	29.0	22.6	9.7	22.6	6.5	9.7	3.2	3.2	-	3.2	-	16.1		
	大学4年	40	80.0	40.0	15.0	22.5	22.5	12.5	12.5	5.0	10.0	2.5	2.5	-	5.0		
実習先での就職意向	意向あり	95	86.3	60.0	40.0	23.2	24.2	12.6	10.5	4.2	3.2	-	3.2	1.1	3.2		
	意向なし	116	80.2	39.7	26.7	16.4	14.7	12.9	12.9	6.9	4.3	1.7	2.6	-	6.0		

※全体との差異 ■ ≥+10pts ■ ≥+5pts ■ ≤-5pts ■ ≤-10pts (n=30未満を除く)

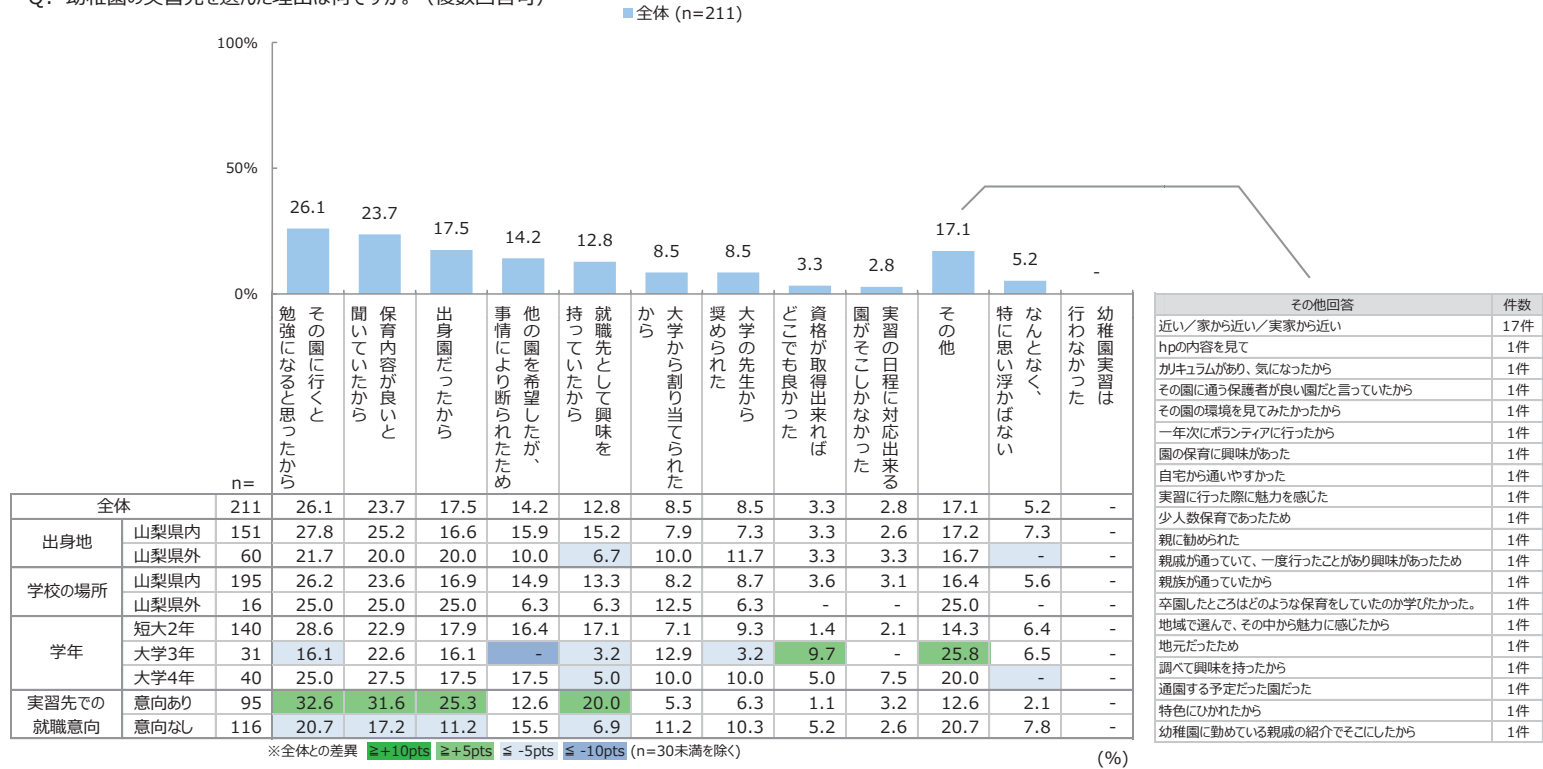
(%)

## 5. 幼稚園の実習先を選んだ理由

■ 幼稚園の実習先を選んだ理由は、「その園に行く勉強になると思った」26%、「保育内容が良いと聞いていた」24%、「出身園だった」18%の順。「その他」17%の回答内容を見ると、「家から近い/実家から近い(17件)」が多く挙げられている。

➢ 学年別にみると、＜大学3年＞で「その園に行く勉強になるから」16%や「就職先として興味を持っていた」3%が全体よりも低くなっている。＜大学4年＞でも「就職先として興味を持っていた」5%と低い。

Q. 幼稚園の実習先を選んだ理由は何ですか。(複数回答可)

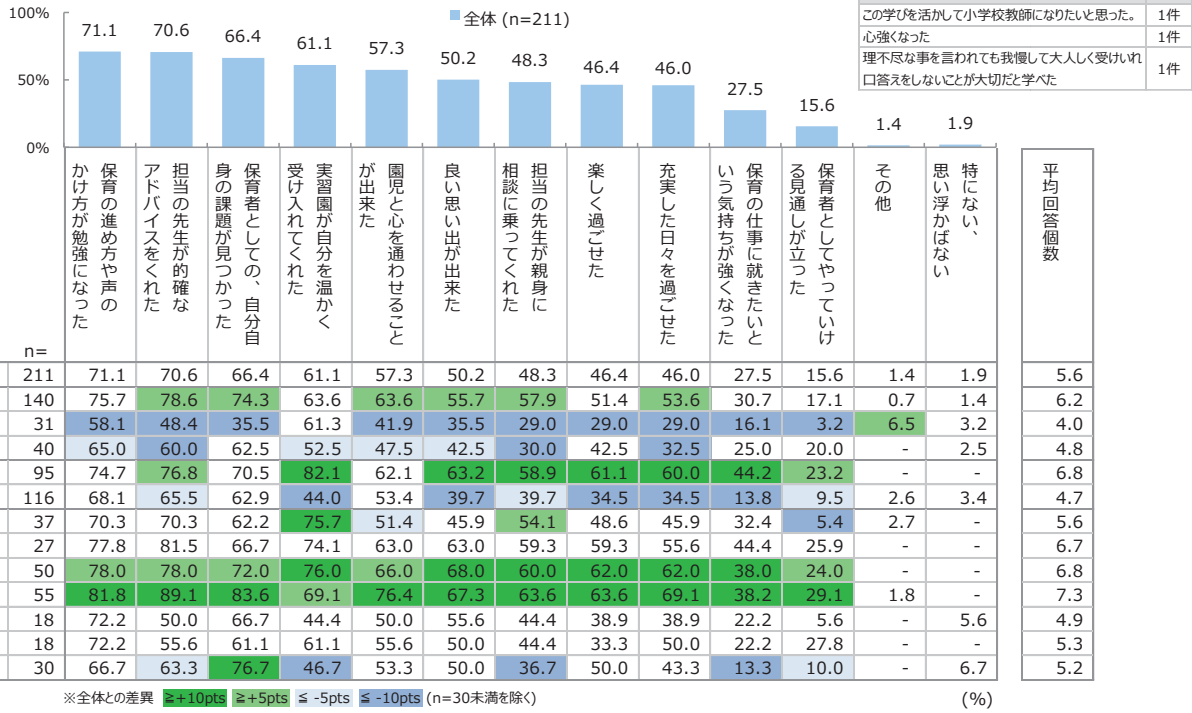


## 6. 実習を経験して「良かったこと」

■ 幼稚園実習を経験して良かったことは、「保育の進め方や声のかけ方が勉強になった」「担当の先生が的確なアドバイスをくれた」とともに71%、「保育者としての自分自身の課題が見つかった」66%、「実習園が自分を温かく受け入れてくれた」61%となっている。

- ▶ 学年別にみると、＜短大2年＞が＜大学3・4年＞に比べて各項目の回答率が高く、充実した実習期間を送れた人が多い様子。※平均回答個数も多い
- ▶ 実習先での就職＜意向あり＞の方が＜意向なし＞よりもすべての項目の回答率が高いことから、【良かった経験】が【実習先での就職意向】へプラスに影響することが窺える。
- ▶ 実習先を選んだ理由別にみると、＜保育内容が良いと聞いていた＞や＜その園に行く勉強になると思った＞では各項目の回答率が高く、充実した実習生活を送れている様子。一方(n数が少なく参考レベルだが)＜大学から割り当てられた＞では、各項目の回答が少なく、実習を通して良い経験は前者に比べて少ない様子。

Q. 幼稚園実習を経験して「良かったこと」は何ですか。(複数回答可)



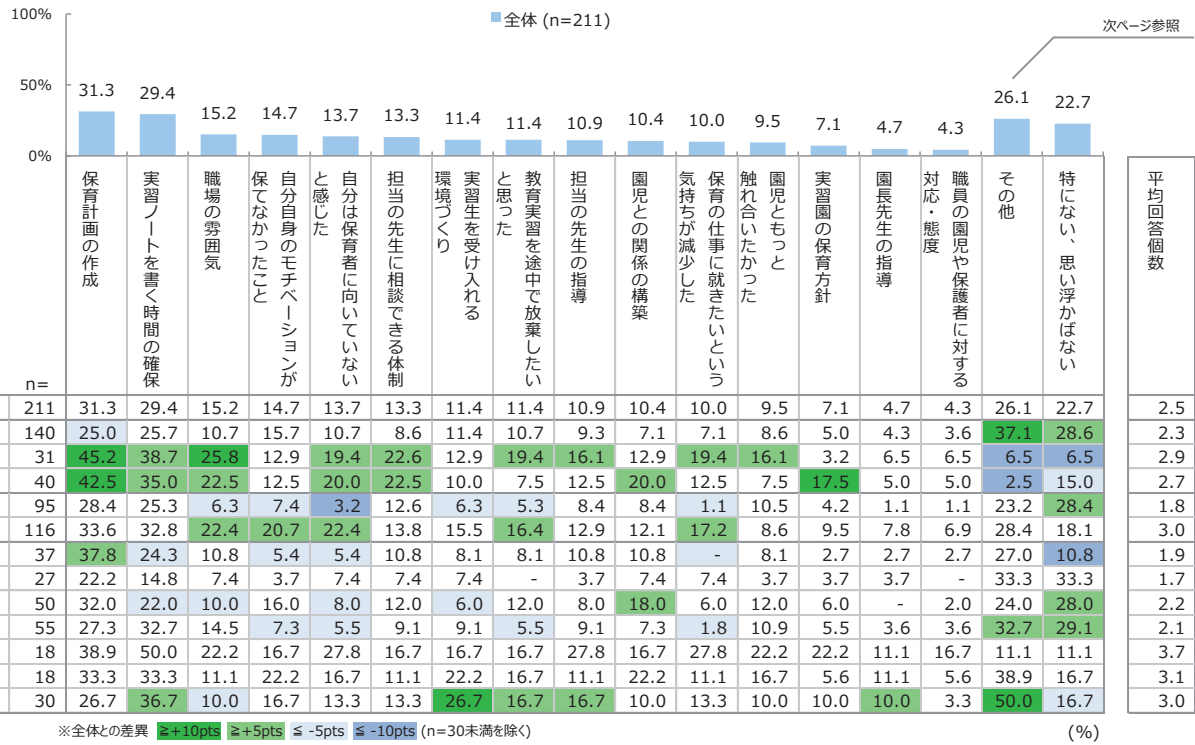
その他回答	件数
この学びを活かして小学校教師になりたいと思った。	1件
心強くなった	1件
理不尽な事を言われても我慢して大人しく受け付けられ口答えをしないことが大切だと学べた	1件

## 7. 実習を経験して「課題だと感じたこと・上手いかなかったこと」

■ 実習を経験して「課題や上手いかなかったこと」は、「保育計画の作成」31%と「実習ノートを書く時間の確保」29%がトップ2。やや離れて「職場の雰囲気」「自分自身のモチベーションが保てなかったこと」15%や「自分は保育者に向いていないと感じた」14%、「担当の先生に相談できる体制」13%が続く。

- 学年別にみると＜大学3・4年＞では、＜短大2年＞に比べ「保育計画の作成」や「実習ノートを書く時間の確保」「職場の雰囲気」を課題と感じている様子。
- 実習先を選んだ理由別では、n数が少なく参考レベルだが＜大学から割り当てられた＞の平均回答個数3.7で、課題を多く感じている様子。

Q. 幼稚園実習を経験して「課題だと感じたこと・上手いかなかったこと」は何ですか。（複数回答可）



次ページ参照

## 7. 実習を経験して「課題だと感じたこと・上手いかなかったこと」 <その他回答>

### ■ 以下数表は、「その他」を回答した55人の意見の一覧表。

➢ “実習ノートを書くことが大変だった”や“準備不足”、“実習園の対応や先生とのコミュニケーション”についての意見が散見される。

Q. 幼稚園実習を経験して「課題だと感じたこと・上手いかなかったこと」は何ですか。（複数回答可）

その他回答	件数	その他回答	件数
ピアノ	2件	実習ノートを書くことが一番大変だった	1件
3週目から園内で風邪やコロナウイルスが増え、自粛要請が出たため子どもが園に来られず、最後の週にも関わらず全員の子供と触れ合うことが出来ず寂しかったからです。	1件	実習ノートを書く時間の確保→指導案や制作物の師範を作ることもあり、実習ノート書かなくてはならないとなり、大変だったから。保育計画の作成→夏の実習とは違い、細かく丁寧に書いた。夏の実習の指導案は甘かったと思い、幼稚園実習の指導案のように書けるようになりたいと思った。	1件
あくまで学生という扱いがとても強く、萎縮してしまっただけ。	1件	実習生への態度が随分と思ったため。また実習生も実習をさせてくれる先生もお互いを尊重して実習に取り組めたほうがどちらも気分よく終わるため。	1件
その園が忙しかったのもあるかもしれないが、1日を振り返る時間がなかったため、質問をいつすればよいかを遣った。また、指導案を提出する日や責任実習をする日を伝えるのが遅く、不安になった。	1件	実習担当の先生との関係を上手に築くことが出来ず、相談等もしにくかったため辛かった。	1件
だんだん疲れが溜まってしまい、睡眠時間が確保できないから	1件	実習中、疎外感を感じて辛かった	1件
まだ実習するだけで疲れてしまう体でノートの時間が安定しなかった。短い実習期間の中で子どものことを知り、それに適した計画を立てるのは本当に難しかった。自分の力不足を感じた。	1件	重い。暗い。挨拶をしない。	1件
もっと子どもの気持ちを理解していきたい	1件	初めての指導実習で計画は細かいところまでたてつもりだったが、いざやってみるとその場で気づいたこと。	1件
一つ一つの言い方が強かった	1件	障害を持った子どもの対応、関わり方に困ることが多くあった。	1件
家に帰ってから、日誌と指導計画を2枚書かなければならず、辛かった。	1件	睡眠時間が削られ、次の日の実習に影響がある日があった。体調も崩しやすくなり、子どもからの風邪をもらうことがあった。	1件
家に帰ってから書くのが大変だから	1件	責任実習でやることの案を出していたのに、責任実習が終わってから、「そうじゃない方が良かった」や「なぜそうしたのか」と聞かれた。どうしたらいいかと先生方に聞いたけれど、答えてくれなかったのに、反省会で責められた。	1件
嫌味を言われて朝のディスカッションは園長先生の"ありがたいお言葉"	1件	責任実習の準備	1件
工夫した言葉がけ	1件	責任実習を通して子どもたちの前に立った際に緊張してしまったり上手に進めることが出来なかった	1件
最初の実習の受け入れの電話の際に温かく受け入れをして欲しかったです。	1件	先生同士で仰っていることが異なっていたためどのようにして良いのか分からないことがあったから	1件
子どもたちが帰ったあとずっと製作をしていたので、実習ノートを書く時間にして欲しかったから	1件	前日に計画を変更されて大変だった	1件
子どもたちの製作の準備やピアノなどが大変だった	1件	全て共通して、毎日退勤時間を超過しての退勤であり、時間的な余裕が持たず気持ちにも余裕が持てなかったため	1件
子どもになめられている感じが強かった	1件	他クラスの先生が1人の園児に対してキツク当たっている場面を見て、すごく嫌だった。また、主任の先生が常に理不尽な理由で否定してきて話を聞いてくれなかったり、一方的に観念を押し付けられたりしてすごく嫌だったし、いまだに怒られた理由がわからない。	1件
子どもに自分の考えた指導案を提示するのが少し怖かったから。	1件	体調を崩したこと	1件
子どもの姿をもっと具体的に予測して、それに対しての配慮をもっと考えなければならぬと感じた。何か予測していないことが起こっても臨機応変に対応できるようあらかじめどのような配慮をしていくか考えていく。	1件	退勤時間になっても退勤を促してもらえず、どのように伝えたら良いか分からなかったから。	1件
子どもの前で話すこと、ほかの保育者がいる前で話すことが緊張して自分の思い通りに話せなかったりしたため	1件	長くて心が折れそうだった。	1件
子どもの名前が難しく、漢字で書かれていると読むのが大変だった。	1件	読み聞かせや手遊びで子どもを注目させる方法を確立するのが難しかった	1件
子どもの目線に立ってどう伝えれば分かりやすいのか考えること。	1件	日程が短く、あまり関わる時間がなかった	1件
子ども達の予想外の行動に対して直ぐに対応ができなかった	1件	副園長先生が厳しかった、言い方がきつかった	1件
指導案の活動内容が決められていたこと	1件	保育士の配慮や援助の考えが足りなかった。子どもの活動が細かくかかっていた。狙いの内容と現在の子どもの姿が領域にできていなかった	1件
事前準備が足りなかった。	1件	忙しそうで声をかけづらい	1件
事前準備が不十分だった	1件	目の前のことに集中しすぎると周りが見えなくなってしまうこと	1件
自分が行く実習園が変わる前の園で、保育士になる資格がない。保育士にならない方がいっと園長に電話で言ってきた園があった。頑張っている人に言うセリフでは無いと思った。	1件	幼稚園の実習を通して、ピアノが上手いはず、とても苦戦しました。もっと練習を重ねていくべきだと思いました。	1件
自分自身が上手く対応できているのか自信がなかったため	1件		
自分自身の責任実習への準備不足、子どもの姿の想定不足	1件		

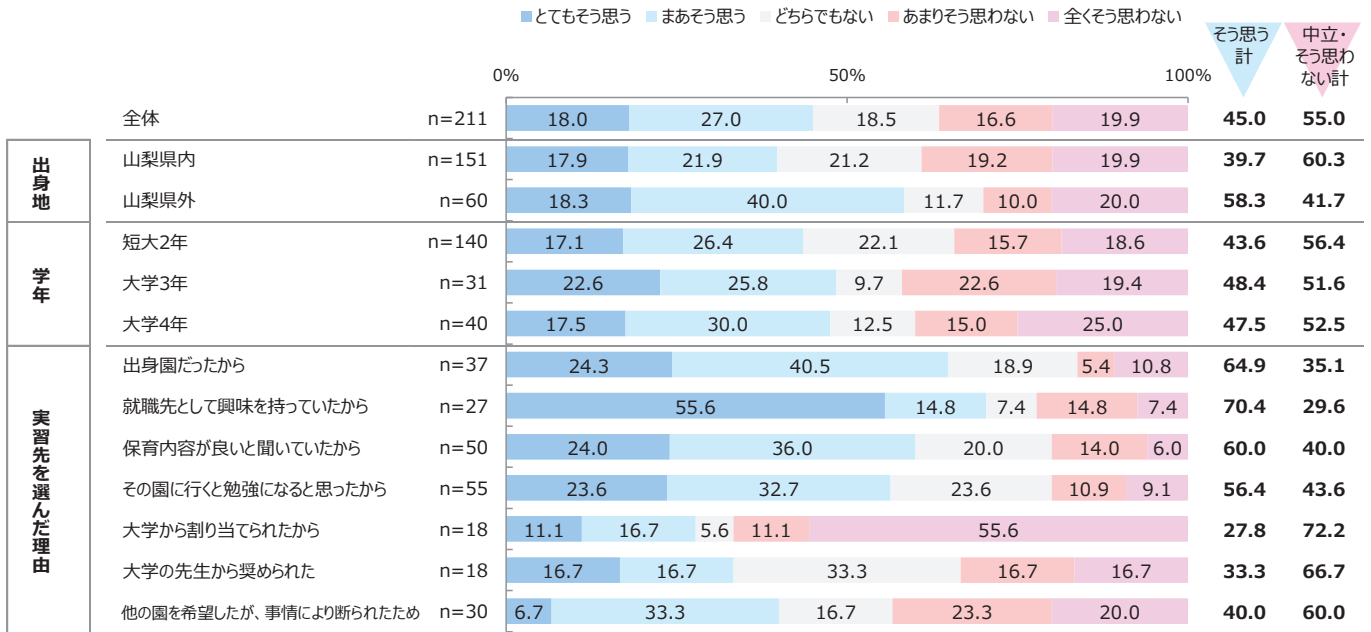


## 8. 実習先への就職意向

### ■ 実習先への就職意向については、「そう思う計」が45%（とてもそう思う18%+まあそう思う27%）。

- ▶ 学年別では、＜短大2年＞44%に比べて＜大学3・4年＞各48%の方が若干高くなっている。
- ▶ 実習先を選んだ理由別にみると、＜出身園だった＞＜保育内容が良いと聞いていた＞＜その園に行く勉強になると思ったから＞では全体に比べて「そう思う計」が高くなっている。また、n=30未満で参考値となるが＜就職先として興味を持っていた＞のTOPBOX「とてもそう思う」が5割を超え目立っている。
- ▶ ＜大学から割り当てられた＞や＜大学の先生から奨められた＞もn数が少なく参考程度だが、就職意向あり「そう思う計」が低い傾向となっている(3割前後)。

Q. 実習を終えて、その幼稚園で、働きたいと思いませんか。

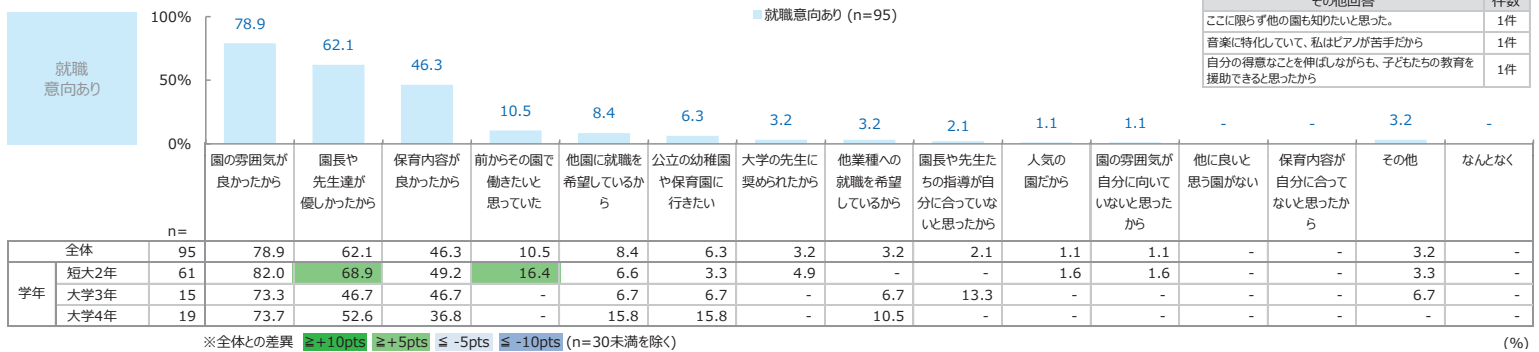


そう思う計 = (「とてもそう思う」+「まあそう思う」) / 中立・そう思わない計 = (「どちらでもない」+「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」)

## 9. 実習先への就職意向の回答理由

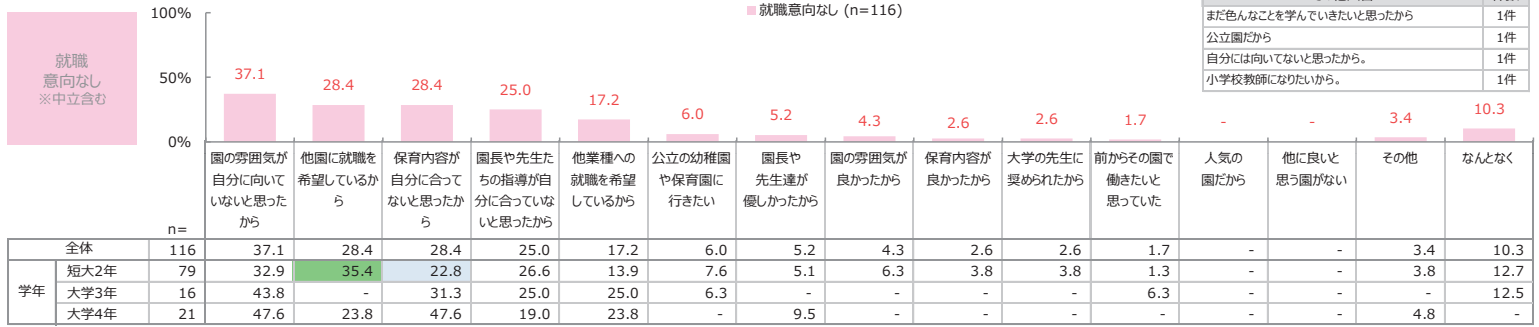
- 実習先への<就職意向あり>回答者95人の理由は、「園の雰囲気良かった」79%と最も高く、次いで「園長や先生達が優しくかった」62%、「保育内容良かった」46%と続く。
- 一方<就職意向なし(中立含む)>回答者116人の理由は、「園の雰囲気が自分に向いていない」37%、「他園に就職を希望している」「保育内容が自分に合っていない」28%、「園長や先生たちの指導が自分に合っていない」25%が挙げられる。

Q. 前問で「問8(実習先への就職意向)の回答」と答えたその理由は何ですか。(複数回答可)



※全体との差異 ≥+10pts ≥+5pts ≤-5pts ≤-10pts (n=30未満を除く)

その他回答	件数
ここに限らず他の園も知りたいと思った。	1件
音楽に特化していて、私はピアノが苦手だから	1件
自分の得意なことを伸ばしながらも、子どもたちの教育を援助できると思ったから	1件



※全体との差異 ≥+10pts ≥+5pts ≤-5pts ≤-10pts (n=30未満を除く)

その他回答	件数
まだ色んなことを学んでいきたいと思ったから	1件
公立園だから	1件
自分には向いてないと思ったから。	1件
小学校教師になりたいから。	1件

**添付資料) 調査票**

---

## 提示ページ

全員

## アンケート

## 幼稚園実習に関するアンケート調査

終了日 2023/01/31 23:59  
NO. 19904

## 幼稚園実習に関するアンケート調査

幼稚園実習について学生のみなさまの声を聞かせてください。  
期間中にアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で200名様にLINEポイント300ポイントをプレゼント！

## 【注意】

本アンケートは、幼稚園実習を行ったことのある現役の大学生、専門学生の方が対象です。それ以外の方は本アンケートの参加をご遠慮ください。

## 設問数

最大10問

## 所要時間

2~3分ほど

## 実施期間

2023年1月31日(火) 午後11時まで  
※本アンケートには回収上限数が設定されています。回収数が上限に達した場合、締切前にアンケートを終了させていただく場合があります。ご了承ください。

## 謝礼

LINEポイント 300P（抽選で200名様）  
当選者へのみ、アンケート終了後1ヶ月以内に、LINEのメッセージにてお送りします。

## 回答データの取得主体

（公社）山梨県私学教育振興会  
（山梨県私立幼稚園連合会）

[プライバシーポリシー](#)

## 情報の取り扱いについて

取得した回答データは、分析及び統計データの作成、マーケティングのために利用いたします。

回答データは、調査依頼主に提供する場合がございます。その際、お客様の興味関心や属性を推定した情報を付加して提供します。詳細はこちらをご覧ください。

[https://terms.line.me/line\\_rules\\_optimize?lang=ja](https://terms.line.me/line_rules_optimize?lang=ja)

## 実施主体

ジャストリサーチサービス株式会社  
東京都中央区新川12-20-7 TOKOHビル6F  
一般社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会

会員No.20081

[プライバシーポリシー](#)

## 参加方法と注意事項

- ・本アンケートは、幼稚園実習を行ったことのある現在大学生、専門学生の方を対象としています。
- ・アンケートにご協力いただいても、ご回答の内容から「幼稚園実習を行ったことがない」「学生ではない」と判別される場合は、謝礼の付与ができない場合がございます。あらかじめご了承ください。

同意して参加する

[利用規約](#) | [プライバシーポリシー](#)

© LINE Corporation

## 本アンケートについて

このアンケートは、令和4年度 文部科学省「幼児教育における人材確保・キャリアアップ支援事業（人材確保関係事業）」の委託を受け、（公社）山梨県私学教育振興会（山梨県私立幼稚園連合会）が実施するものです。幼稚園実習をより充実したものにするため、学生の皆さまの声を聞かせください。

また、アンケートの結果が、マスメディアやインターネット等に掲載されることがあります。

このことをご理解いただいた上でご協力いただける方は、次ページにお進みください。

※調査結果を公開する場合は、選択式の質問は統計処理をして特定の個人を識別できない形にします。

※記述式の質問は特定の個人を識別できないように内容を加工します。

次へ

# 調査画面イメージ

## 本調査

全員

**Q1** 必須  
あなたの**出身地**は？  
ひとつだけ

山梨県

長野県

静岡県

神奈川県

東京都

千葉県

埼玉県

茨城県

群馬県

栃木県

北海道・東北地方  
(青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島)

中部地方<山梨・長野・静岡以外>  
(新潟、富山、石川、福井、岐阜、愛知)

近畿地方  
(三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)

中国・四国地方  
(鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知)

九州・沖縄地方  
(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、高崎、鹿児島、沖縄)

次へ

**Q2** 必須  
現在、あなたが在籍している**学校名**  
(**大学・専門学校**)を教えてください。

※略称などではなく正式名称でお答えください。

※複数個所に系列校・キャンパスがある場合は○○校/○○キャンパスまでお答えください。

学校名

次へ

**Q3** 必須  
現在、**何年生**ですか？  
ひとつだけ

1年生

2年生

3年生

4年生

この中にはない

次へ

**Q4** 必須  
あなたはどのようにして**幼稚園教諭・保育士**になろうと思いましたか？  
いくつでも

子どもが好きだから

幼稚園や保育園の先生に憧れて

楽しそうだったから

就職に有利だから

保育の仕事はやりがいのある仕事だと思うから

自分は保育者に向いていると思うから

両親や親族に勧められたから

高校の先生、友人に勧められたから

親が保育士・幼稚園教諭だったから

他に進学希望があったが、入学試験で不合格となったから

その他

なんとなく

幼稚園教諭・保育士になるつもりはない

次へ

## 本調査

全員

Q5 必須

幼稚園の実習先を選んだ理由は何ですか。

いくつでも

- 出身園だったから
- 就職先として興味を持っていたから
- 保育内容が良いと聞いていたから
- その園に行くのが勉強になると思ったから
- 大学から割り当てられたから
- 大学の先生から奨められた
- 他の園を希望したが、事情により断られたため
- 実習の日程に対応出来る園がそこしかなかった
- 資格が取得出来ればどこでも良かった
- 
- なんとなく、特に思い浮かばない
- 幼稚園実習は行わなかった

次へ

幼稚園実習経験者 対象

Q6 必須

幼稚園実習を経験して「良かったこと」は何ですか。

いくつでも

- 担当の先生が的確なアドバイスをくれた
- 担当の先生が親身に相談に乗ってくれた
- 実習園が自分を温かく受け入れてくれた
- 保育の進め方や声のかけ方が勉強になった
- 保育者としての、自分自身の課題が見つかった
- 園児と心を通わせることが出来た
- 保育者としてやっていける見通しが立った

- 保育の仕事に就きたいという気持ちが強くなった
- 良い思い出が出来た
- 充実した日々を過ごせた
- 楽しく過ごせた
- 
- 特にない、思い浮かばない

次へ

Q7 必須

幼稚園実習を経験して「課題だと感じたこと・上手いかなかったこと」は何ですか。

いくつでも

- 担当の先生の指導
- 担当の先生に相談できる体制
- 園長先生の指導
- 実習生を受け入れる環境づくり
- 職員や園児や保護者に対する対応・態度
- 実習園の保育方針
- 職場の雰囲気
- 実習ノートを書く時間の確保
- 保育計画の作成
- 園児との関係構築
- 園児ともっと触れ合いたかった

- 自分は保育者に向いていないと感じた
- 保育の仕事に就きたいという気持ちが減少した
- 自分自身のモチベーションが保てなかったこと
- 教育実習を途中で放棄したいと思った
- 
- 特にない、思い浮かばない

次へ

## 調査画面イメージ

### 本調査

幼稚園実習経験者 対象

全員

Q8 必須

実習を終えて、その幼稚園で働きたいと思いましたが。

ひとつだけ

- とてもそう思う
- まあそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

次へ

Q9 必須

前問で「とてもそう思う」と答えたその理由は何ですか。

いくつでも

- 前からその園で働きたいと思っていた
- 園の雰囲気良かったから
- 園長や先生達が楽しかったから
- 保育内容良かったから
- 大学の先生に奨められたから
- 人気の園だから
- 他に良いと思う園がない
- 他園に就職を希望しているから
- 他業種への就職を希望しているから
- 公立の幼稚園や保育園に行きたい

- 園の雰囲気が自分に向いていないと思ったから
- 園長や先生たちの指導が自分に合っていないと思ったから
- 保育内容が自分に合っていないと思ったから
- その他
- なんとなく

次へ

Q10 必須

あなたが希望する就職先は？

※すでに就職先が決まっている方は、第一希望(1位)に就職先を選択してください。

1 選択してください

2 選択してください

3 選択してください

次へ

選択してください

- 幼稚園
- 認定こども園
- 保育園
- 小規模型保育所
- 企業主導型保育所
- 認可外保育施設
- 児童養護施設
- 障害者施設
- 小学校
- 中学校
- 幼児教育や保育とは関係のない公務員
- 幼児教育や保育とは関係のない企業または団体
- その他
- まだ決まっていない・特になし